

北方町の新たなまちづくりに関するアンケート調査

調査結果

対象者: 18 歳以上の北方町町民の皆様

(平成 27 年 12 月 1 日現在)

実施日: 平成 28 年 1 月 15 日～2 月 1 日

回答数: 438 / 配布数: 1,500

回答率: 29.2%

平成 28 年 2 月

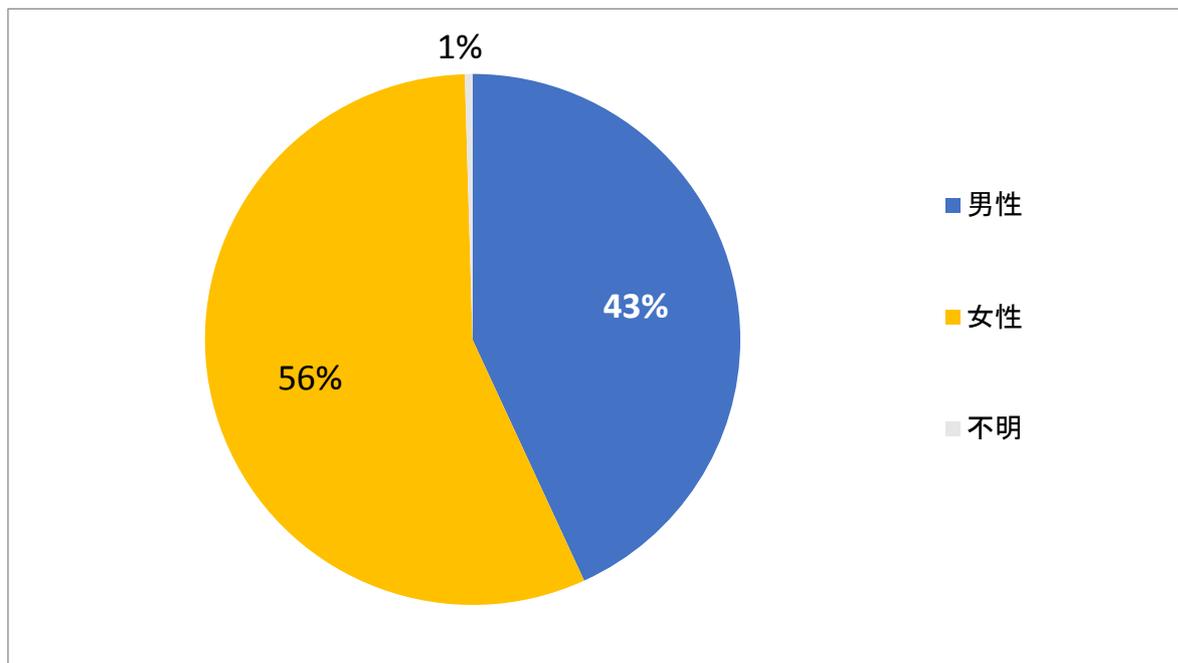
北方町

問1. あなたご自身のことについて

問1(1) 性別

■性別は「女性」が56%(247人)、「男性」が43%(189人)であった。おおむね均等に回答が得られたと言える。

図-1 性別



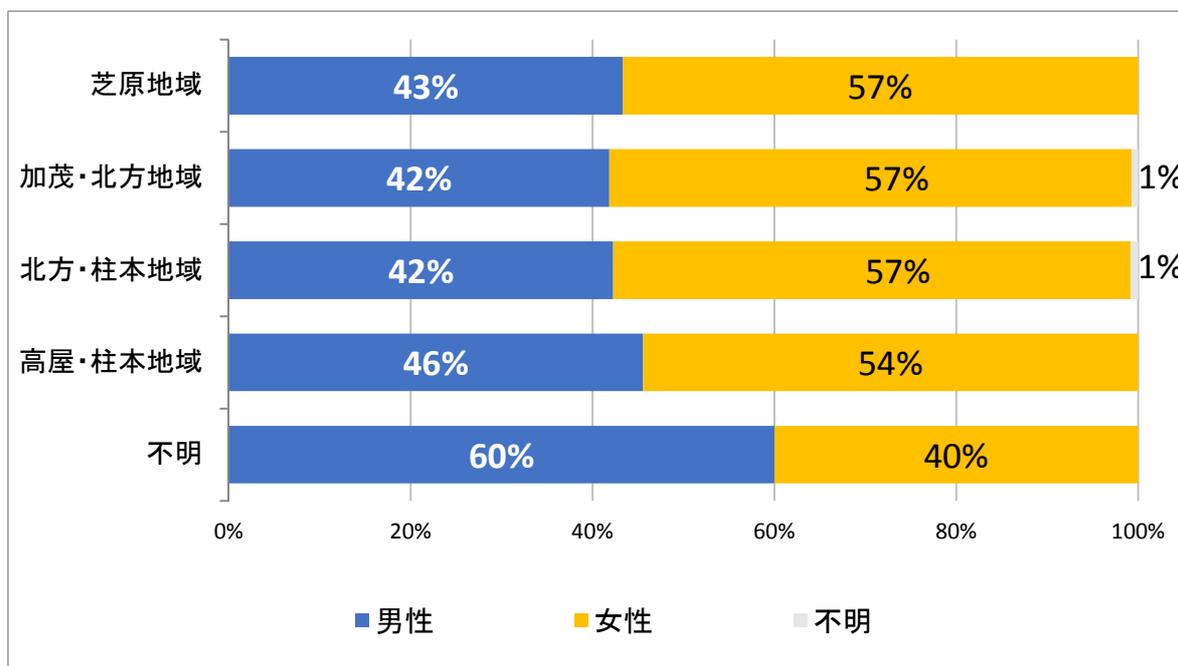
単位/人

1 男性	189
2 女性	247
不明	2
全体	438

【クロス集計 地域】

■各地区、性別はおおむね均等に回答が得られたと言える。

図-2 地域別・性別



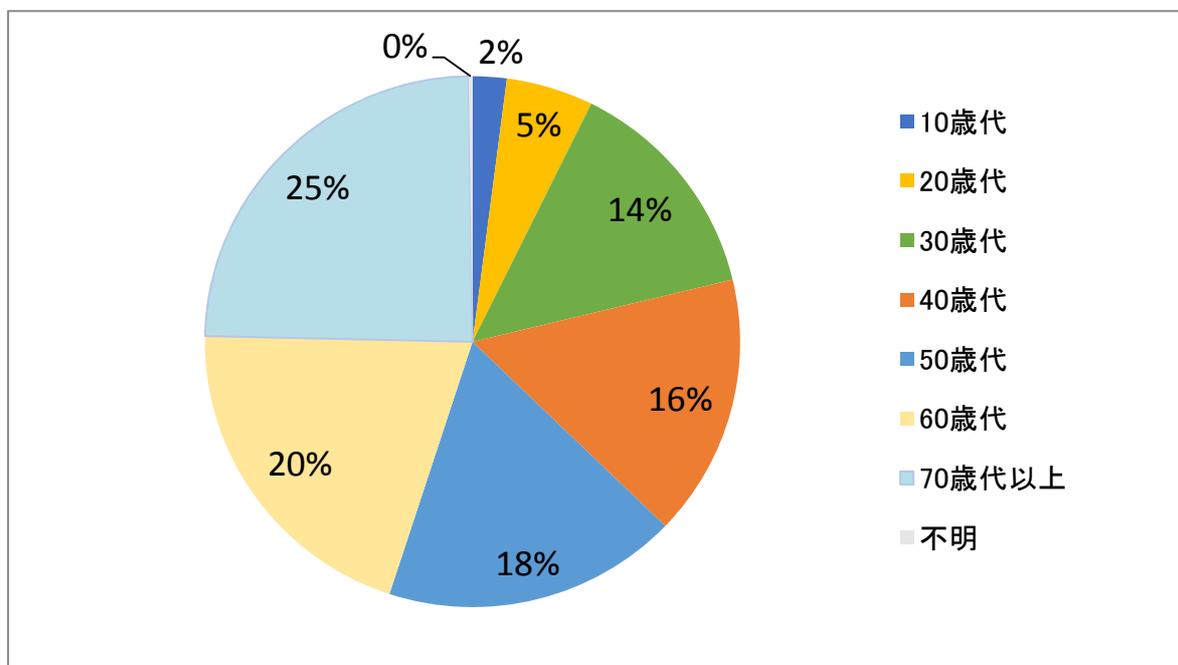
単位／人

地域	男性	女性	不明	総計
芝原地域	39	51	0	90
加茂・北方地域	59	81	1	141
北方・柱本地域	52	70	1	123
高屋・柱本地域	36	43	0	79
不明	3	2	0	5
総計	189	247	2	438

問1(2) 年齢

- 年齢は「70歳代以上」が25%(107人)で最も多く、年齢が低くなるにつれて割合も低くなっている。
- 各年代から一定以上の回答が得られていると言える。

図-3 年齢



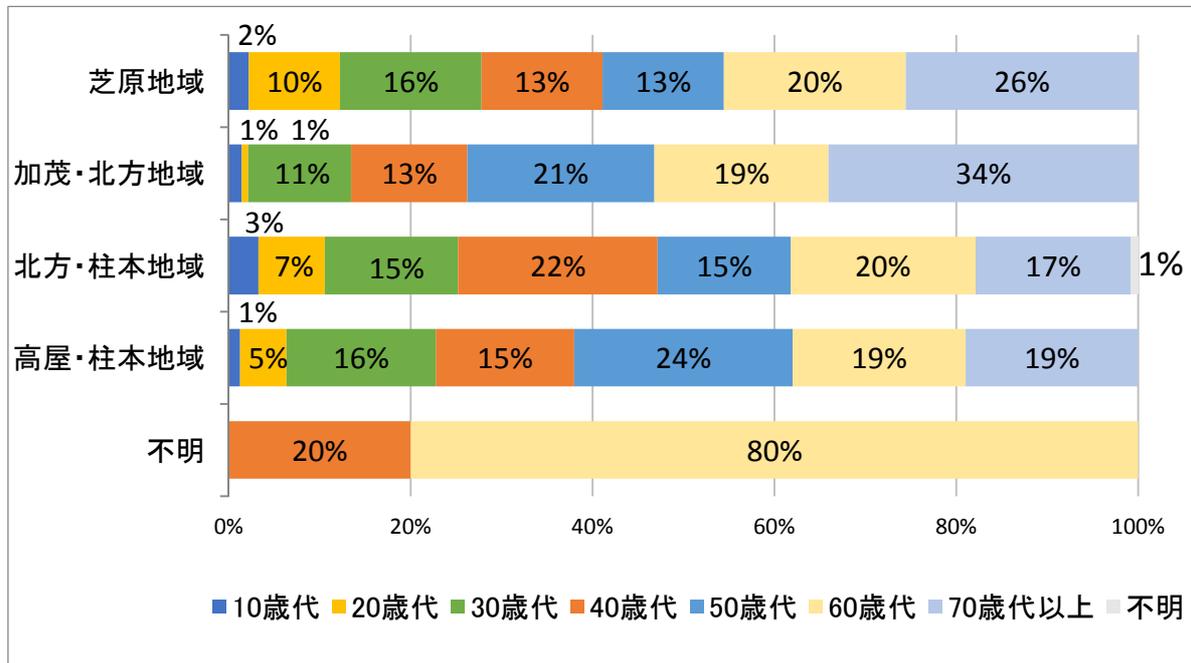
単位／人

1	10歳代	9
2	20歳代	23
3	30歳代	61
4	40歳代	70
5	50歳代	78
6	60歳代	89
7	70歳代以上	107
	不明	1
	全体	438

【クロス集計 地域】

- 芝原地域では、「20 歳代」の割合が比較的高く、「50 歳代」の割合が比較的低い。
- 加茂・北方地域では、「70 歳代以上」の割合が比較的高い。また、「50 歳代～70 歳代以上」の回答者が全体の 7 割を占めている。
- 北方・柱本地域では、「40 歳代」の割合が比較的高く、「70 歳代以上」の割合が比較的低い。
- 高屋・柱本地域では、「50 歳以上」の割合が比較的高く、「70 歳代以上」の割合が比較的低い。また、「50 歳代～70 歳代以上」の回答者が全体の 8 割を占めている。

図-4 地域別・年齢



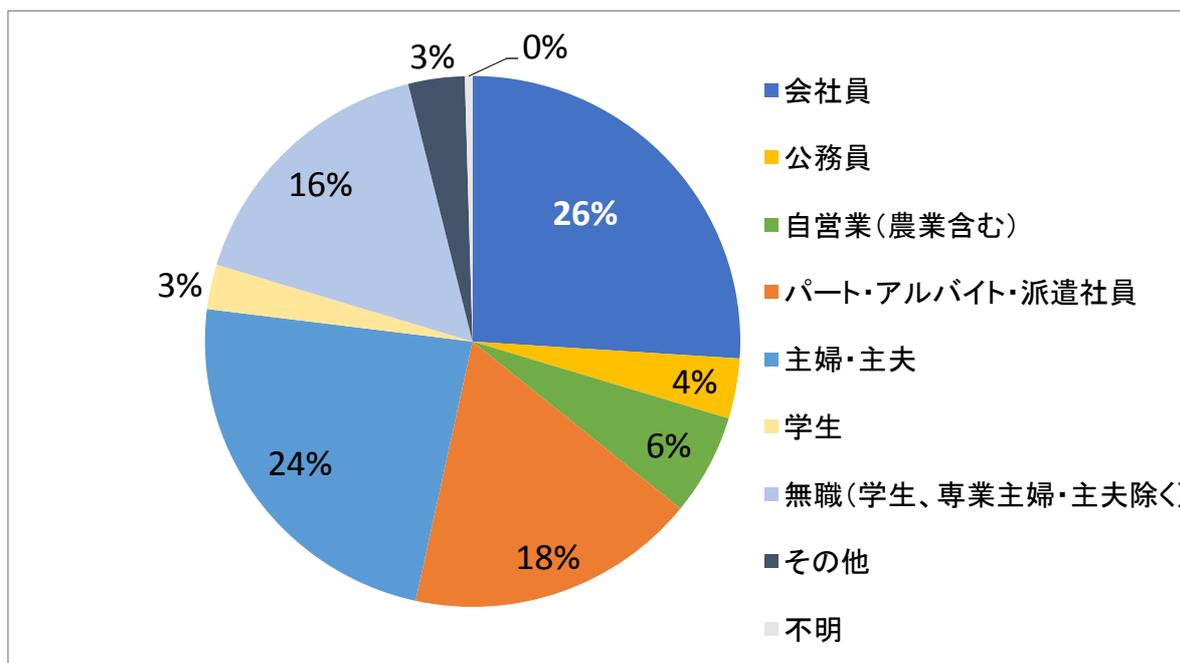
単位／人

地域	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
芝原地域	2	9	14	12	12	18	23	0	90
加茂・北方地域	2	1	16	18	29	27	48	0	141
北方・柱本地域	4	9	18	27	18	25	21	1	123
高屋・柱本地域	1	4	13	12	19	15	15	0	79
不明	0	0	0	1	0	4	0	0	5
総計	9	23	61	70	78	89	107	1	438

問1(3) 職業

- 職業は「会社員」が26%(114人)で最も多く、次いで「主婦・主夫」が24%(103人)であった。
- 「会社員」に、「公務員」の4%(16人)と「自営業」の6%(27人)を合わせて36%、さらに「パート・アルバイト・派遣社員」の18%(77人)を加えると54%と、働いている人が過半数を占める。

図-5 職業



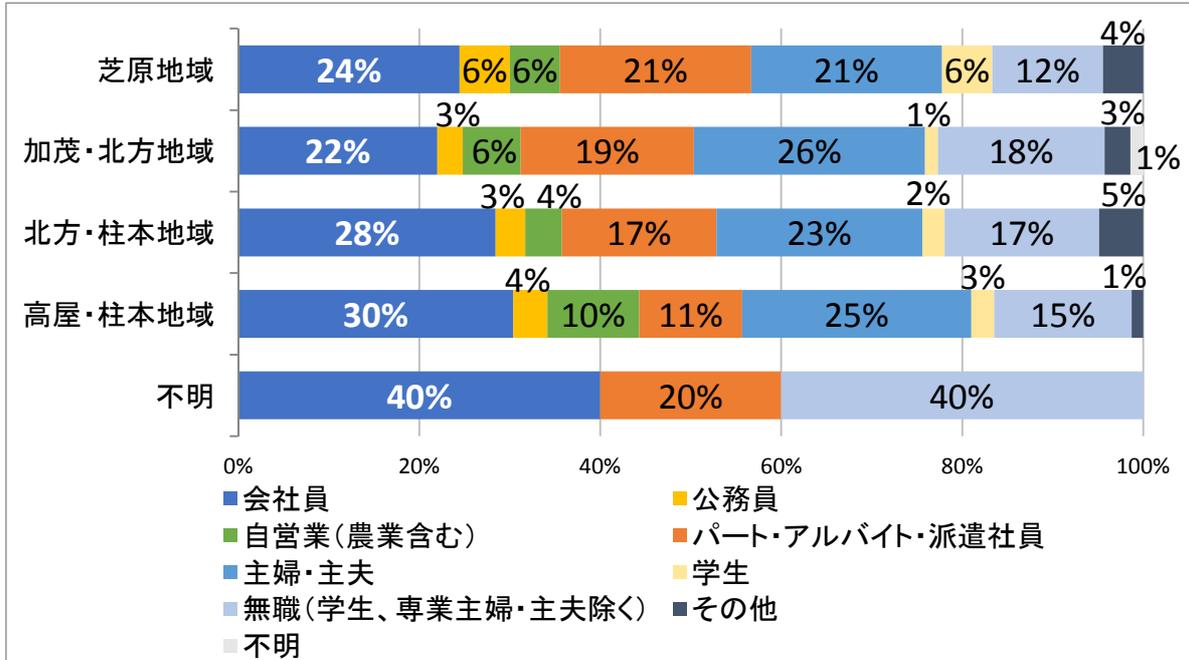
単位/人

1 会社員	114
2 公務員	16
3 自営業(農業含む)	27
4 パート・アルバイト・派遣社員	77
5 主婦・主夫	103
6 学生	12
7 無職(学生、専業主婦・主夫除く)	72
8 その他	15
不明	2
全体	438

【クロス集計 地域】

- 高屋・柱本地域では、「パート・アルバイト・派遣社員」の割合が比較的低い。
- 加茂・北方地域のみ、働いていない人の割合が5割を超えている。

図-6 地域別・職業



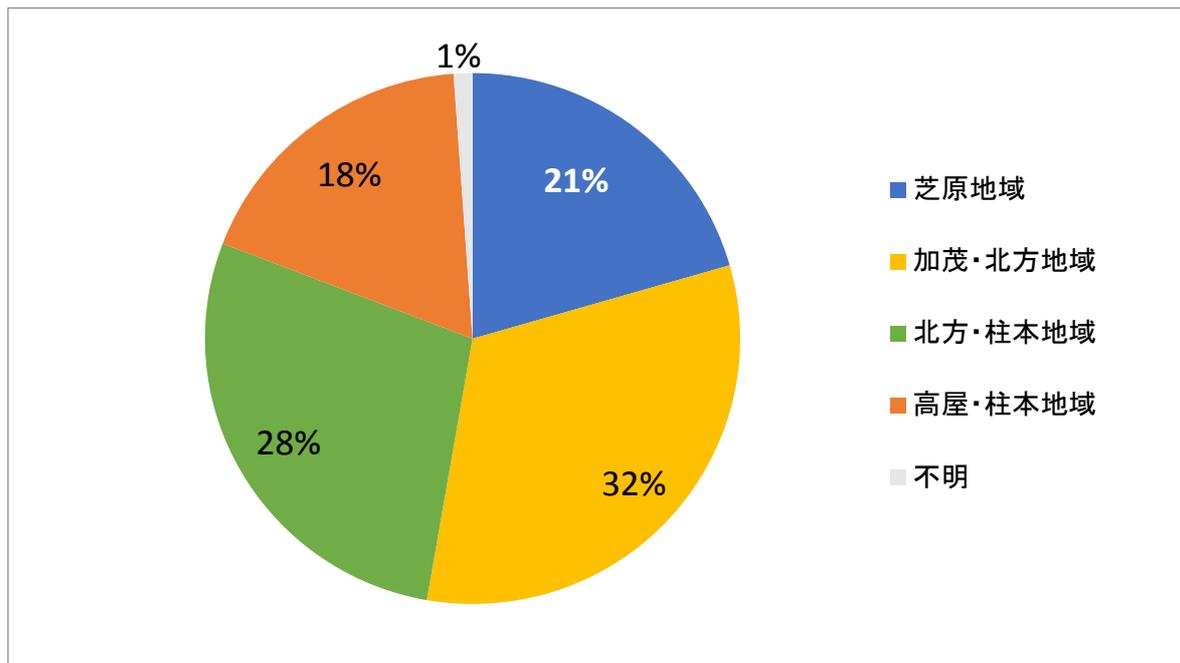
単位／人

地域	会社員	公務員	自営業	パート・アルバイト・派遣社員	主婦・主夫	学生	無職	その他	不明	総計
芝原地域	22	5	5	19	19	5	11	4	0	90
加茂・北方地域	31	4	9	27	36	2	26	4	2	141
北方・柱本地域	35	4	5	21	28	3	21	6	0	123
高屋・柱本地域	24	3	8	9	20	2	12	1	0	79
不明	2	0	0	1	0	0	2	0	0	5
総計	114	16	27	77	103	12	72	15	2	438

問1(4) お住まいの地域

- 住んでいる地域は「加茂・北方地域」が最も多く32%(141人)、次いで「北方・柱本地域」の28%(123人)であった。
- 各地域から、おおむね均等に回答が得られたと言える。

図-7 お住まいの地域



	単位/人
芝原地域	90
加茂・北方地域	141
北方・柱本地域	123
高屋・柱本地域	79
不明	5
全体	438

単位／人

芝原地域

1 朝日町	18
6 黒定町	19
11 芝原中町	18
12 芝原西町	9
13 芝原東町	20
47 若宮町	6
小計	90

加茂・北方地域

2 石町	5
3 一本松	8
4 梅野町	3
5 加茂町	18
7 駒来町	4
9 栄町	8
10 地下	9
14 清水	4
15 新町	4
17 大門	9
27 千歳町	0
29 天王町	0
30 戸羽町	6
31 仲町	3
32 西町	4
37 ハイタウンA-1	6
38 ハイタウンA-2、4	8
41 東加茂	8
42 船町	1
43 本町	7
44 増屋町	3
46 森町	20
48 リバティ北方	3
小計	141

北方・柱本地域

8 小柳	13
16 曲路	16
26 俵町	19
28 天狗堂	9
33 ハイタウンS-1	6
34 ハイタウンS-2	1
35 ハイタウンS-3	2
36 ハイタウンS-4	5
39 柱本	29
40 春来町	21
45 明葉団地	2
小計	123

高屋・柱本地域

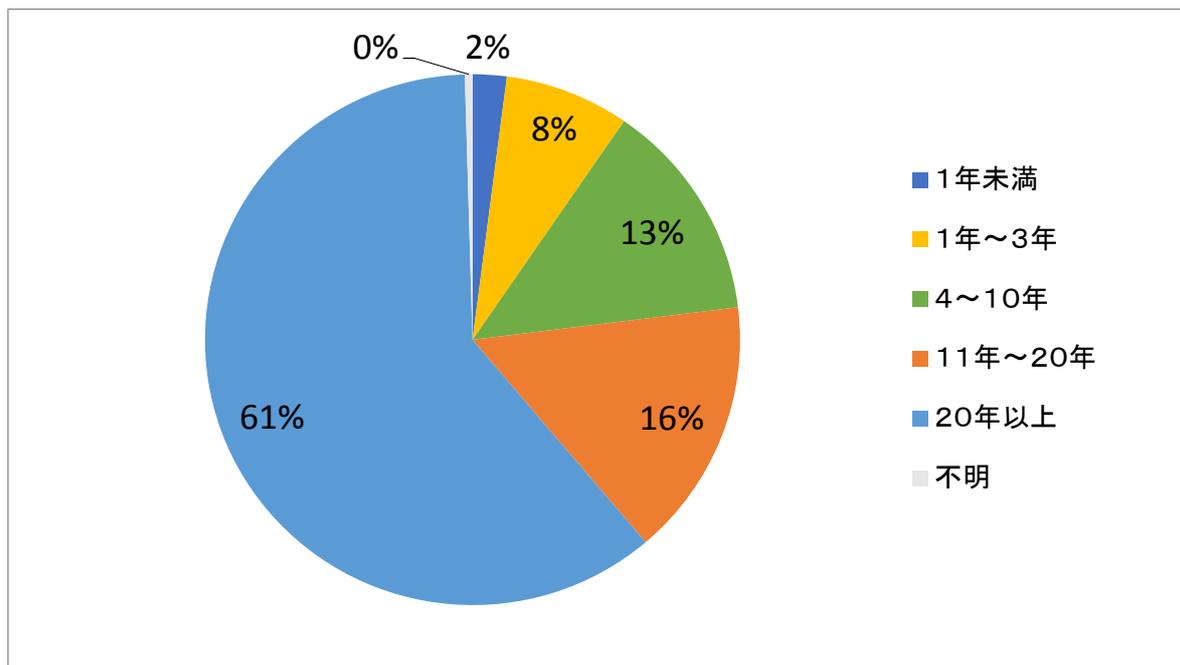
18 高屋	24
19 高屋伊勢田1丁目	9
20 高屋白木1丁目	6
21 高屋白木2丁目	1
22 高屋白木3丁目	5
23 高屋条里	20
24 高屋太子町	7
25 高屋丸の内	7
小計	79

※ 地域をまたぐ場合は住宅面積を多く含む方に組み込んだ。

問1(5) 北方町に住み始めてからの年数

- 北方町に住み始めてからの年数は「20年以上」が61% (226人)と最も多く、6割を超える。
- 在住歴が短くなるにつれて、回答者の割合も低くなっている。

図-8 北方町に住み始めてからの年数



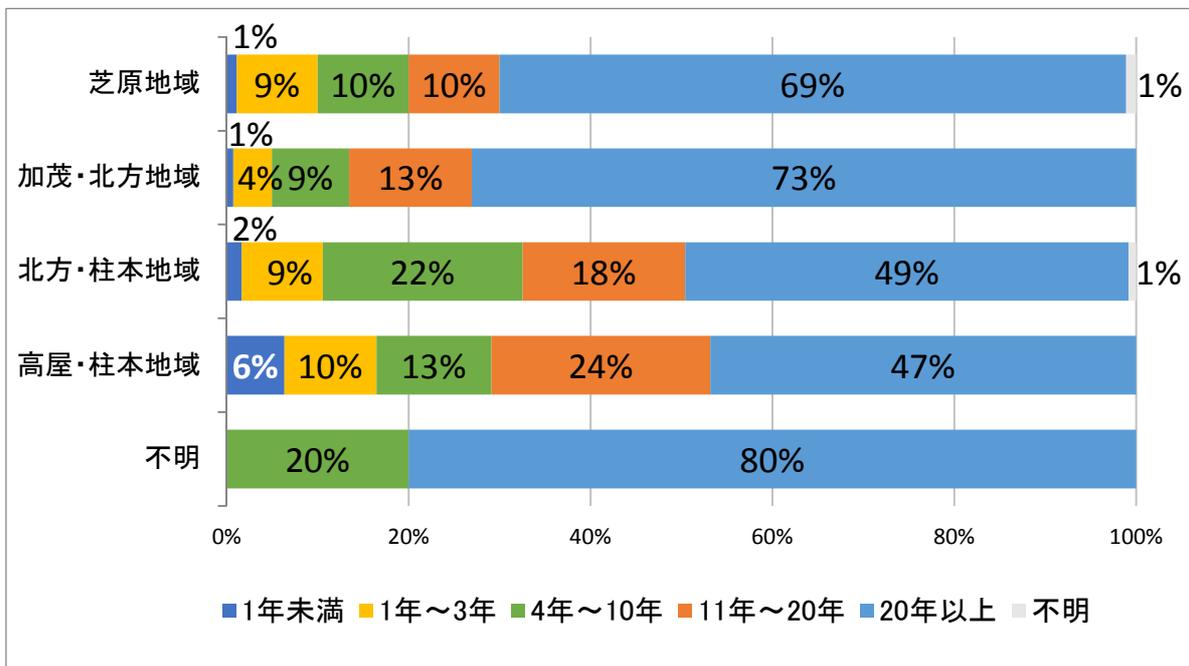
単位／人

1	1年未満	9
2	1年～3年	33
3	4～10年	59
4	11年～20年	69
5	20年以上	266
	不明	2
	全体	438

【クロス集計 地域】

- 芝原地域では、在住歴「20年以上」の割合が比較的高い。
- 加茂・北方地域では、在住歴「20年以上」の割合が4地域で最も高い。
- 北方・柱本地域では、在住歴「4～10年」の割合が比較的高く、「20年以上」が比較的低い。
- 高屋・柱本地域では、在住歴「11年～20年」の割合が比較的高く、「20年以上」は4地域で最も低い。
- 上記より芝原、加茂・北方地域は昔からの在住者が多く、北方・柱本、高屋・柱本地域は比較的新しく転入してきた在住者が多いと言える。

図-9 地域別・北方町に住み始めてからの年数



単位／人

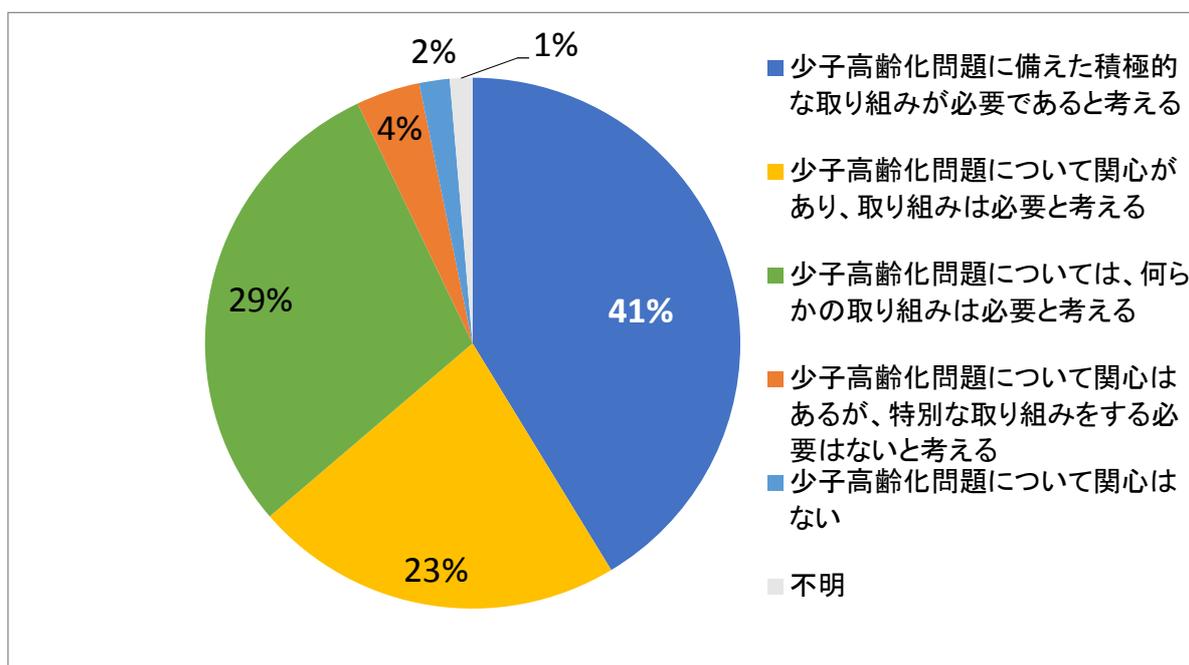
地域	1年未満	1年～3年	4年～10年	11年～20年	20年以上	不明	総計
芝原地域	1	8	9	9	62	1	90
加茂・北方地域	1	6	12	19	103	0	141
北方・柱本地域	2	11	27	22	60	1	123
高屋・柱本地域	5	8	10	19	37	0	79
不明	0	0	1	0	4	0	5
総計	9	33	59	69	266	2	438

問2. 社会情勢と北方町のまちづくりへの考え方について

問2(1) 少子高齢化問題について

■「少子高齢化問題に備えた積極的な取り組みが必要である」と考えるが41% (181人)と最も多かった。
 ■続いて、少子高齢化問題について「何らかの取り組みは必要」が29% (128人)、「関心があり、取り組みは必要」が23% (98人)と多かった。取り組みが必要であると考え人は合わせて93%と、大多数を占める。

図-10 少子高齢化問題について



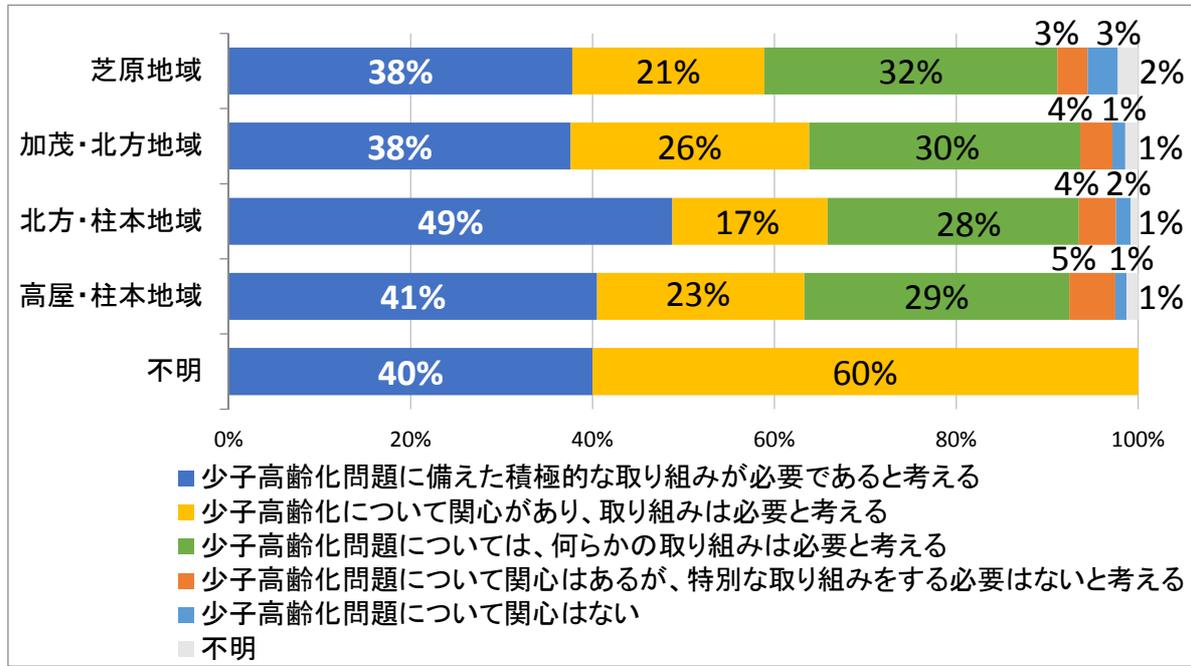
単位／人

1	少子高齢化問題に備えた積極的な取り組みが必要である	181
2	少子高齢化問題について関心があり、取り組みは必要	98
3	少子高齢化問題については、何らかの取り組みは必要	128
4	少子高齢化問題について関心はあるが、特別な取り組みをする必要はない	17
5	少子高齢化問題について関心はない	8
	不明	6
全体		438

【クロス集計 地域】

■ 北方・柱本地域では、「少子高齢化問題に備えた積極的な取り組みが必要である」と考えるの割合が比較的高い。

図-11 地域別・少子高齢化問題について



単位／人

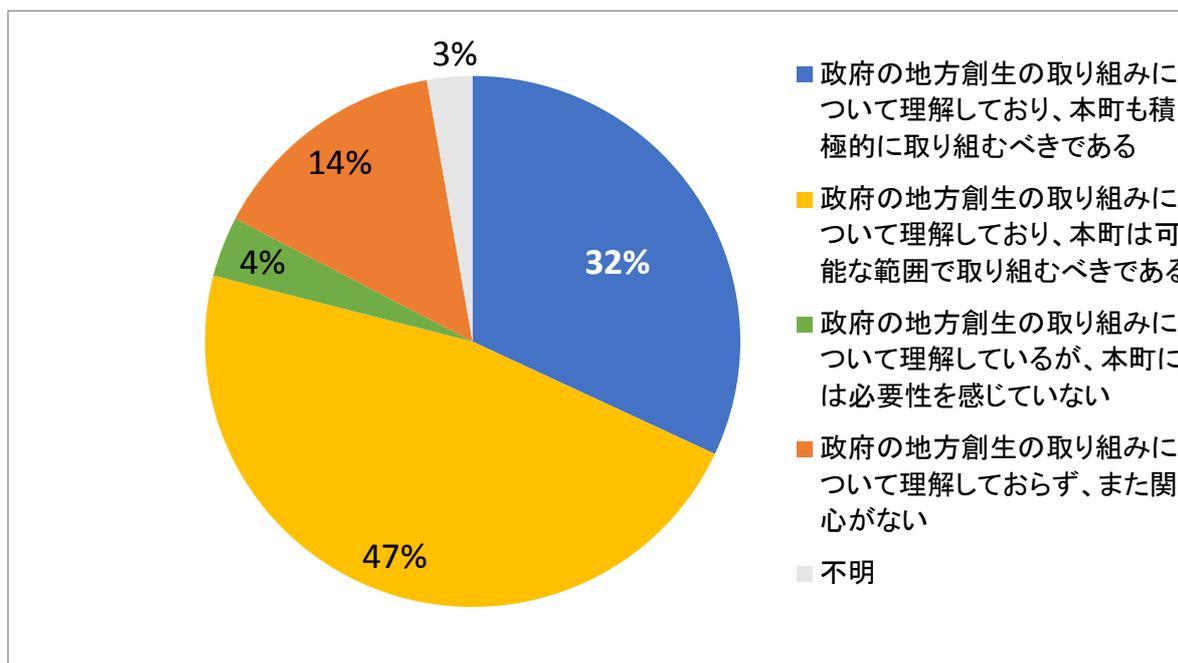
地域	少子高齢化問題に備えた積極的な取り組みが必要である	少子高齢化問題について関心があり、取り組みは必要と考える	少子高齢化問題については、何らかの取り組みは必要と考える	少子高齢化問題について関心はあるが、特別な取り組みをする必要はないと考える	少子高齢化問題について関心はない	不明	総計
芝原地域	34	19	29	3	3	2	90
加茂・北方地域	53	37	42	5	2	2	141
北方・柱本地域	60	21	34	5	2	1	123
高屋・柱本地域	32	18	23	4	1	1	79
不明	2	3	0	0	0	0	5
総計	181	98	128	17	8	6	438

問2(2) 北方町の地方創生に関する取り組みについて

■「政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町は可能な範囲で取り組むべきである」が47% (206 人)と最も多く、半数近くを占める。

■次いで、「政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町も積極的に取り組むべきである」が32% (140 人)と多く、本町も取り組むべきとする人は合わせて79%と、8割近くを占める。

図-12 北方町の地方創生に関する取り組みについて



単位／人

1 政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町も積極的に取り組むべきである	140
2 政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町は可能な範囲で取り組むべきである	206
3 政府の地方創生の取り組みについて理解しているが、本町には必要性を感じていない	16
4 政府の地方創生の取り組みについて理解しておらず、また関心がない	64
不明	12

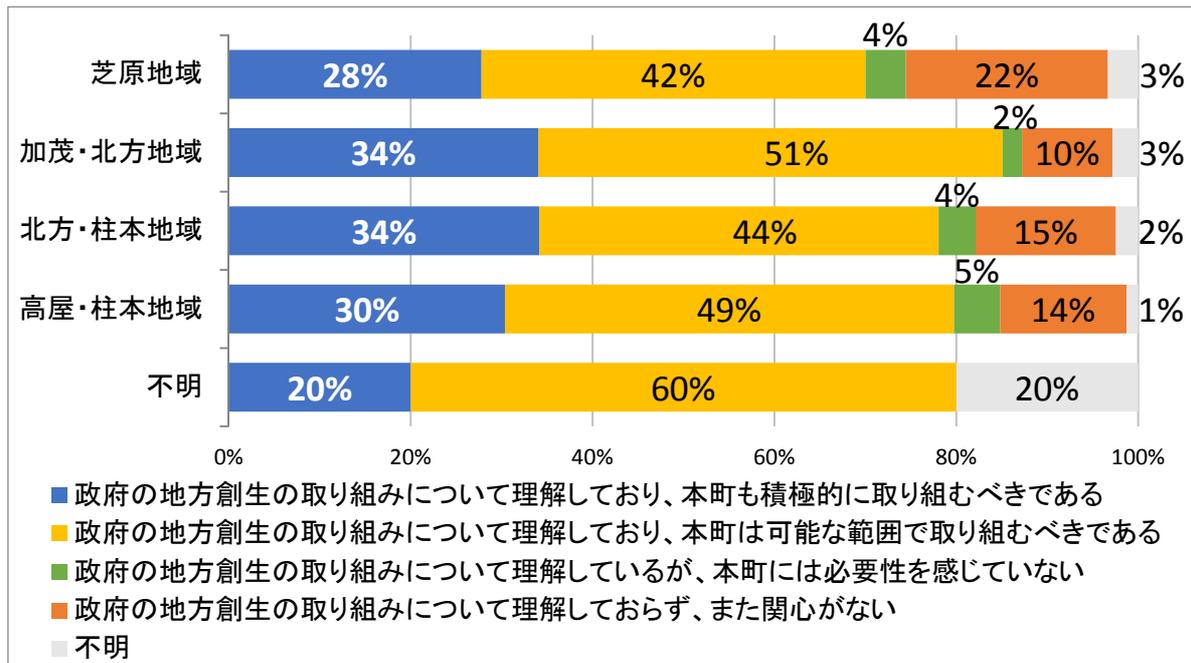
全体 438

【クロス集計 地域】

■芝原地域では、「政府の地方創生の取り組みについて理解しておらず、また関心がない」の割合が比較的高い。

■加茂・北方地域では「政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町は可能な範囲で取り組むべきである」の割合が4地域で最も高く、また「必要性を感じない」「関心がない」割合が最も低い。

図-13 地域別・北方町の地方創生に関する取り組みについて



単位／人

地域	政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町も積極的に取り組むべきである	政府の地方創生の取り組みについて理解しており、本町は可能な範囲で取り組むべきである	政府の地方創生の取り組みについて理解しているが、本町には必要性を感じていない	政府の地方創生の取り組みについて理解しておらず、また関心がない	不明	総計
芝原地域	25	38	4	20	3	90
加茂・北方地域	48	72	3	14	4	141
北方・柱本地域	42	54	5	19	3	123
高屋・柱本地域	24	39	4	11	1	79
不明	1	3	0	0	1	5
総計	140	206	16	64	12	438

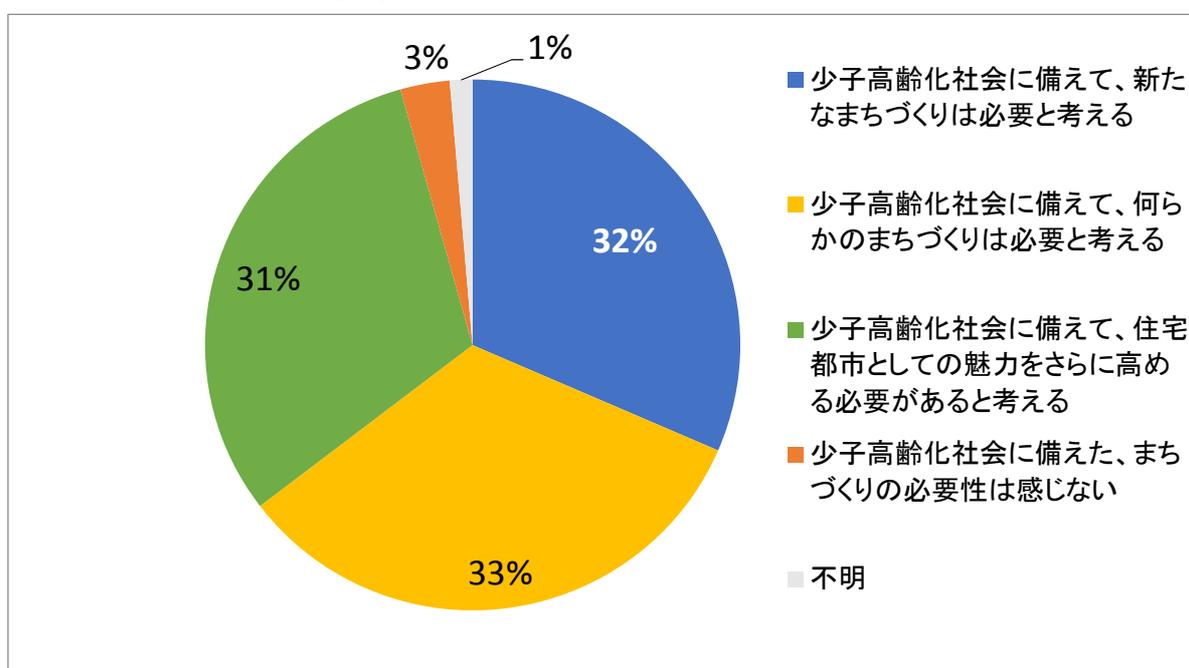
問3. 地方創生の一環である地域再生計画による新たなまちづくりについて

問3(1) 将来を見据えた少子高齢化に備えた新たなまちづくりについて

■少子高齢化社会に備えて、「何らかのまちづくりは必要と考える」が33%(145人)、「新たなまちづくりは必要と考える」が32%(138人)と多かった。新たなまちづくりが必要と考える人は合わせて65%と、3分の2近くを占める。

■一方、「少子高齢化社会に備えて、住宅都市としての魅力をさらに高める必要があると考える」も31%(136人)と、3分の1近くある。少子高齢化社会に備えたまちづくりが必要と考える人は合わせて、96%と大多数を占める。

図-14 将来を見据えた少子高齢化に備えた新たなまちづくりについて



単位／人

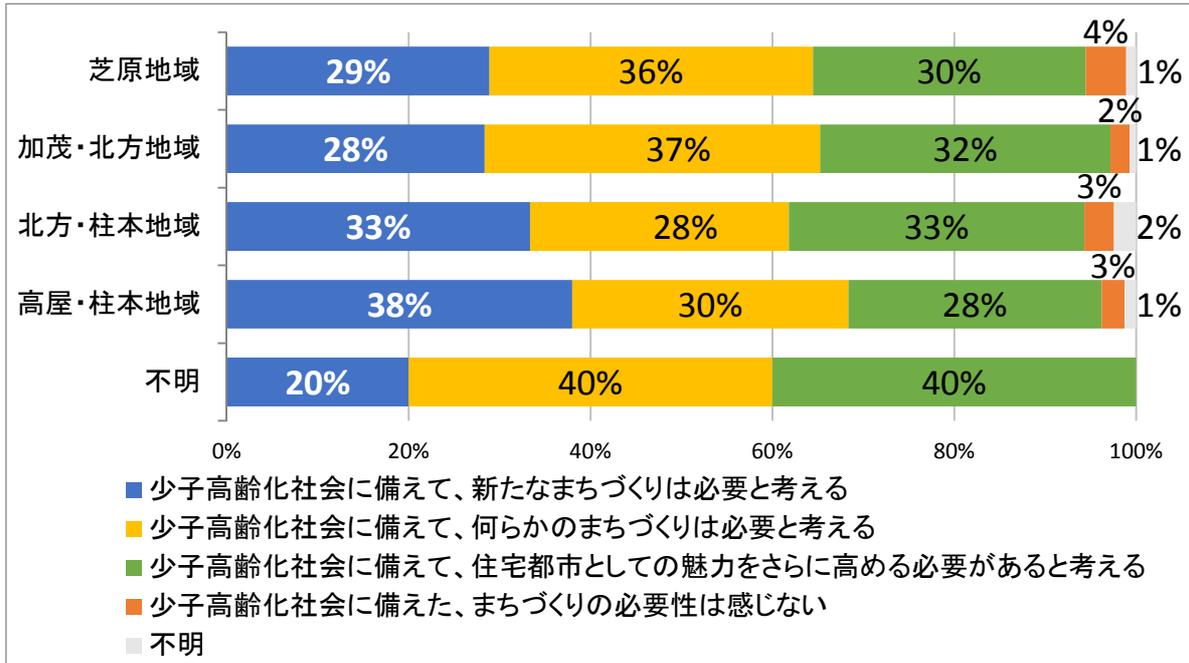
1 少子高齢化社会に備えて、新たなまちづくりは必要と考える	138
2 少子高齢化社会に備えて、何らかのまちづくりは必要と考える	145
3 少子高齢化社会に備えて、住宅都市としての魅力をさらに高める必要があると考える	136
4 少子高齢化社会に備えた、まちづくりの必要性は感じない	13
不明	6

全体 438

【クロス集計 地域】

- 北方・柱本地域では、「少子高齢化社会に備えて、住宅都市としての魅力をさらに高める必要があると考える」が4地区の中で最も高い。
- 高屋・柱本地域では、「少子高齢化社会に備えて、新たなまちづくりは必要と考える」が4地区の中で最も高い。

図-15 地域別・将来を見据えた少子高齢化に備えた新たなまちづくりについて



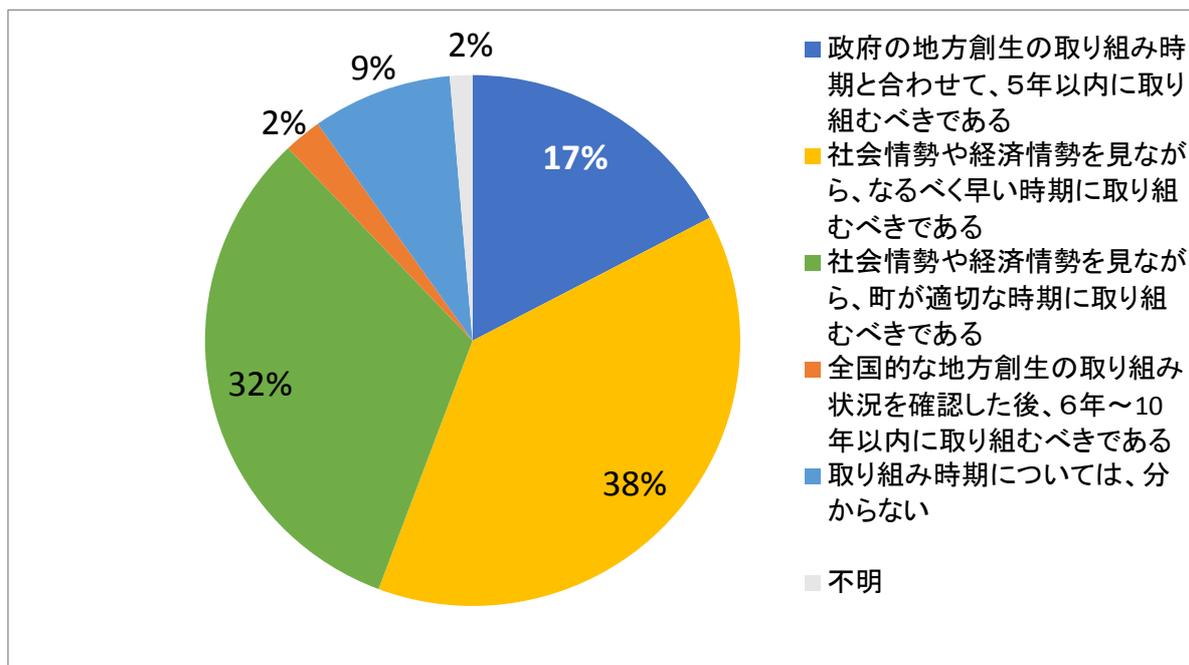
単位／人

地域	少子高齢化社会に備えて、新たなまちづくりは必要と考える	少子高齢化社会に備えて、何らかのまちづくりは必要と考える	少子高齢化社会に備えて、住宅都市としての魅力をさらに高める必要があると考える	少子高齢化社会に備えた、まちづくりの必要性は感じない	不明	総計
芝原地域	26	32	27	4	1	90
加茂・北方地域	40	52	45	3	1	141
北方・柱本地域	41	35	40	4	3	123
高屋・柱本地域	30	24	22	2	1	79
不明	1	2	2	0	0	5
総計	138	145	136	13	6	438

問3(2) 本町の地方創生の一環である新たなまちづくりへの取り組み時期について

■「社会情勢や経済情勢を見ながら、なるべく早い時期に取り組むべきである」が 38% (168 人) と最も多く、次いで「社会情勢や経済情勢を見ながら、町が適切な時期に取り組むべきである」が 32% (141 人) と多かった。

図-16 本町の地方創生の一環である新たなまちづくりへの取り組み時期について



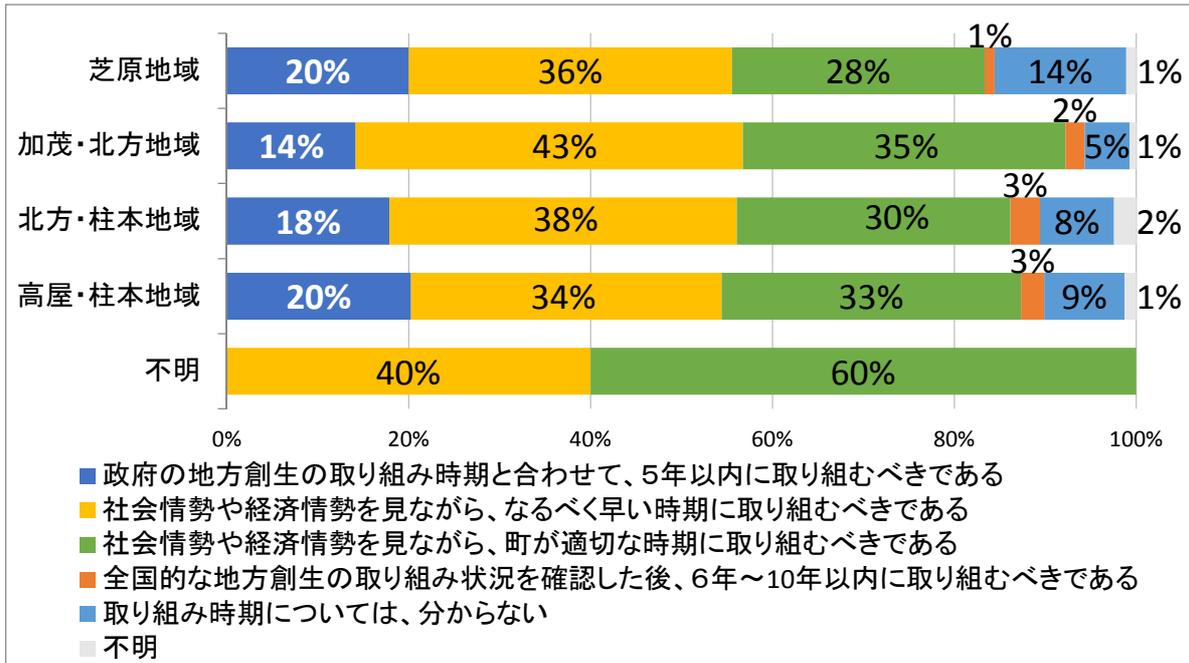
単位／人

1 政府の地方創生の取り組み時期と合わせて、5年以内に取り組むべきである	76
2 社会情勢や経済情勢を見ながら、なるべく早い時期に取り組むべきである	168
3 社会情勢や経済情勢を見ながら、町が適切な時期に取り組むべきである	141
4 全国的な地方創生の取り組み状況を確認した後、6年～10年以内に取り組むべきである	10
5 取り組み時期については、分からない	37
不明	6
全体	438

【クロス集計 地域】

- 芝原地域、高屋・柱本地域では、「政府の地方創生の取り組み時期と合わせて、5年以内に取り組むべきである」の割合が4地域で最も高い。
- 加茂・北方地域では、「社会情勢や経済情勢を見ながら、なるべく早い時期に取り組むべきである」の割合が4地域で最も高い。

図-17 地域別・本町の地方創生の一環である新たなまちづくりへの取り組み時期について



単位／人

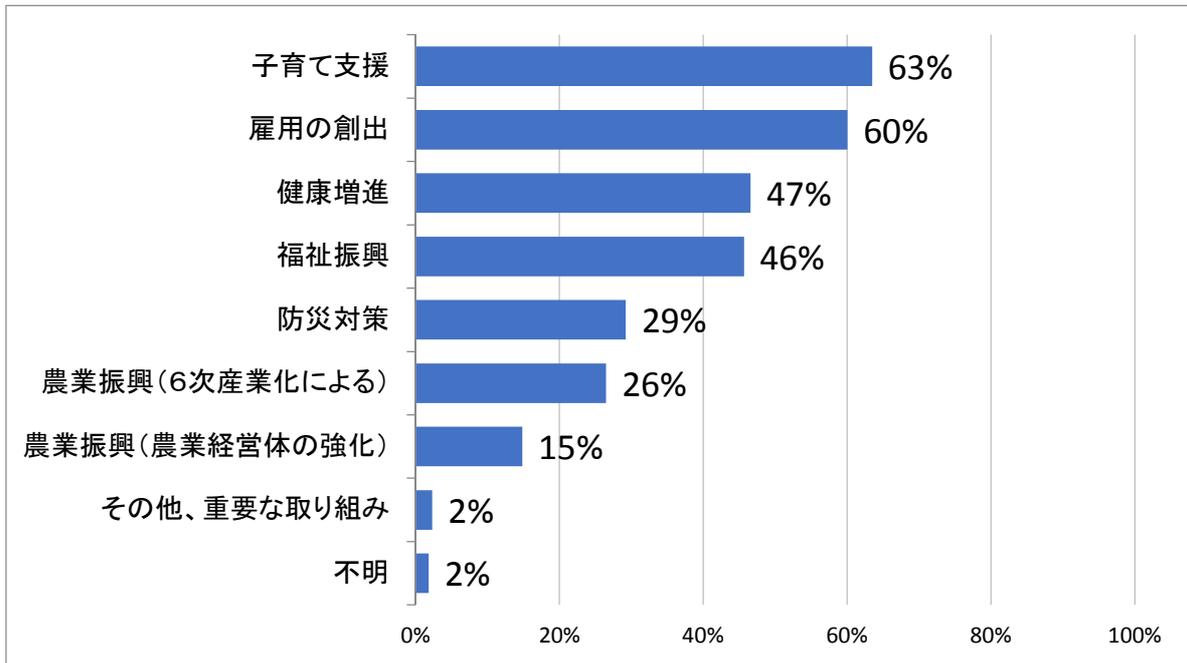
地域	政府の地方創生の取り組み時期と合わせて、5年以内に取り組むべきである	社会情勢や経済情勢を見ながら、なるべく早い時期に取り組むべきである	社会情勢や経済情勢を見ながら、町が適切な時期に取り組むべきである	全国的な地方創生の取り組み状況を確認した後、6年～10年以内に取り組むべきである	取り組み時期については、分からない	不明	総計
芝原地域	18	32	25	1	13	1	90
加茂・北方地域	20	60	50	3	7	1	141
北方・柱本地域	22	47	37	4	10	3	123
高屋・柱本地域	16	27	26	2	7	1	79
不明	0	2	3	0	0	0	5
総計	76	168	141	10	37	6	438

問4. 新たなまちづくりについて

問4(1) どのようなまちづくりが重要と考えるか

- 「子育て支援」が63%(278人)と最も多く、次いで「雇用の創出」の60%(263人)で、共に回答者の6割を超える。
- 続いて「健康増進」47%(204人)、「福祉振興」46%(200人)が多く、共に回答者の5割近くである。

図-18 どのようなまちづくりが重要と考えるか



(複数回答・3つまで)

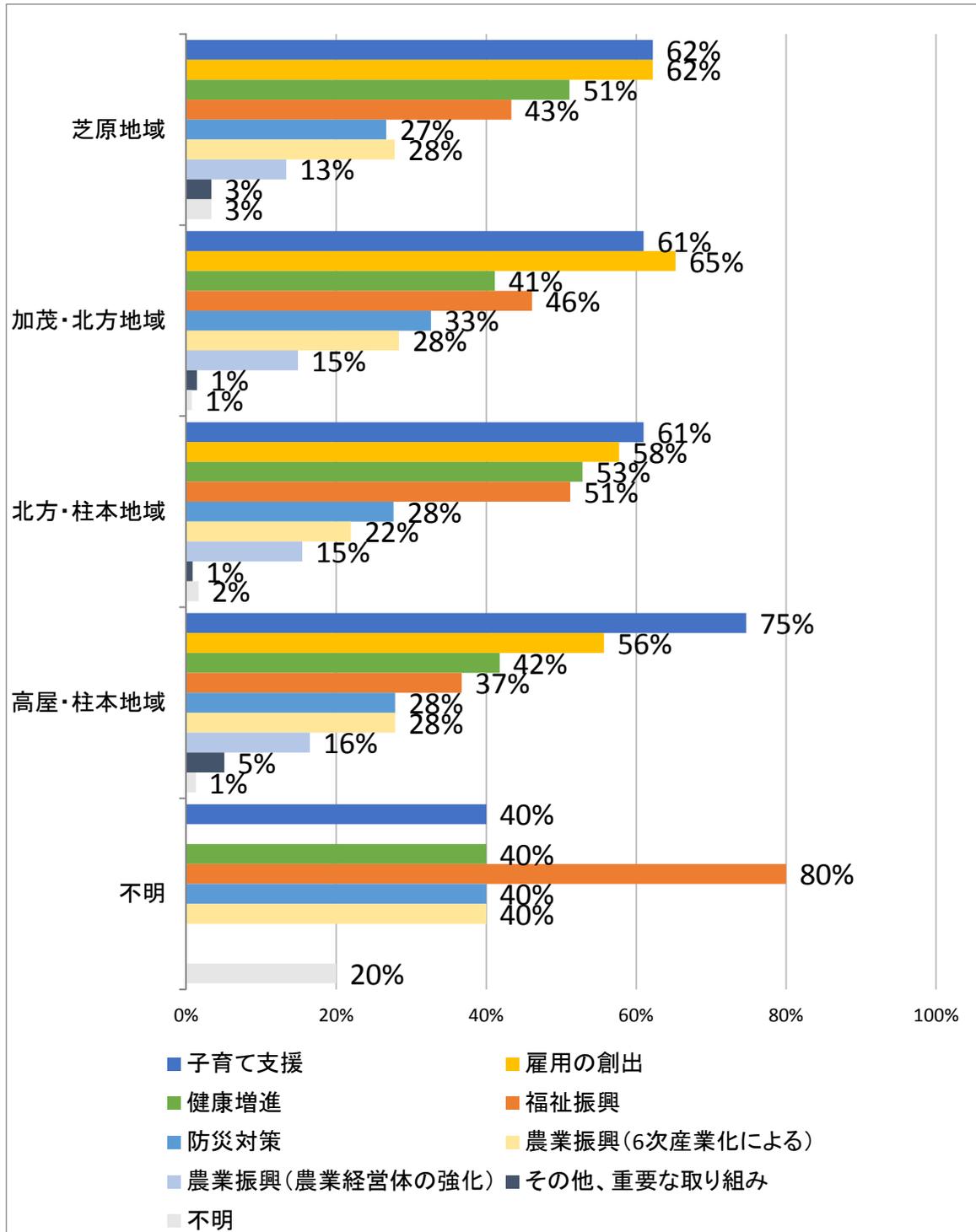
単位/人

7	子育て支援	278
1	雇用の創出	263
4	健康増進	204
5	福祉振興	200
6	防災対策	128
3	農業振興(6次産業化による)	116
2	農業振興(農業経営体の強化)	65
8	その他、重要な取り組み	10
	不明	8
全体		438

【クロス集計 地域】

- 加茂・北方地域では、「雇用の創出」の割合が比較的高く、「健康増進」は比較的低い。
- 北方・柱本地域では、「健康増進」と「福祉振興」の割合が比較的高い。
- 高屋・柱本地域では、「子育て支援」の割合が4地区の中で最も高い。一方「福祉振興」と「健康増進」は比較的低い。

図-19 地域別・どのようなまちづくりが重要と考えるか



- ・母子家庭の生活保護の見直し。かたちだけ離婚し、ほぼ同居状態の人々への手当が必要か？ 年金生活者(まじめに税金年金の支払いをしてきた人々)が6万円、そういうものを支払わず受け取るだけの生活保護者が9万円もらい、毎日酒を飲んでいる北方町でよいのか？(50代男性)
- ・高齢者が仕事をできる場所、会社が必要。今のままだと年金受給者ばかりで、働く者がいなくなる(60代男性)

6.防災対策について(安全対策含む)

- ・私は仙台市宮城野区で東日本大震災に遭遇しました。幸い津波がこない距離で助かりました。3日ほどでガス・水道・電気などライフラインが復旧しました。でも、食品はなくなりガソリンスタンドも24時間車が並んでいました。北方町はもしもの時、大丈夫でしょうか。私が不自由に思ったことはトイレでした。とても大事です(50代男性)
- ・交通対策(高齢者、子どもを事故から守る)、防犯対策(犯罪のない安全安心な町づくり) →日常生活を保障する(70代以上男性)
- ・町東部だけでなく、各地区の防災機能強化(60代女性)
- ・大地震などの災害には通電火災が多いと聞きました。そんな時、感震ブレーカーがあったらいいなと思いました(70代以上女性)

7.子育て支援について

- ・どの市町村も保育料(未満児)が高い(20代女性)
- ・幼稚園、保育園を増やしてみてもどうでしょうか(30代男性)
- ・青少年育成のボランティア活動を長く支援しているが、年々町からの支援が弱くなってきていると感じている。さらには中学校が荒れているなど、悪い方向の話が聞こえてきます。このような状況で、北方町で子育てをしようという考えが出てくるのか？ 青少年育成や、医療費など、子どもを地域で守る良い環境づくりが必要ではないか(40代男性)

8.その他、重要な取り組みについて

(住宅都市について)

- ・3次産業を拡大し、完全なるベッドタウンを岐阜市、名古屋市等にPRし、若い人の転入を図る(70代以上男性)
- ・職場(大垣、岐阜市等)に行きやすい地域であると考えますので、住宅購入する時の減額補助、中古住宅を活用して、入居しやすい環境を整えていただきたいと思います(30代男性)
- ・北方町に企業誘致するよりも、岐阜市、大垣市の活性化にともなって、住宅都市としての価値を高めるのが良いと思う。北方町だけでなく近隣市町との共同連携が重要だと考える(30代女性)

(独自性について)

- ・No1をつくること。何でもよいから、人まねでなく、ここにしかないものをつくる。できたら世界一、または日本一となるものを(70代以上男性)

- ・国の施策に盲目的にしたがっていくとうまくいかない。町独自の施策を立案すべきと思う(70代以上男性)
- ・東海地区でこの北方しかない、北方だけというものを作り出す。町民にアイデアを集めて実行する(例:一地区の家は全部家の外装色を同じにして、これによって観光客を呼んで、外食などを増やすなど。まだまだ考えが尽きることはないと思う)。農業では、例として全農家トマトばかり年中つくり「トマトなら北方」とか？(70代以上男性)

(商店について)

- ・アピタやモレラなど大きなショッピングモールはあるが、普段は利用しづらく、バローやマックスバリュなど小型スーパーがある方が、住んでいる者としてはありがたい(20代女性)
- ・北方商店街を歩行者天国にして、空き家をなくして作り変える。車社会だけに無料の駐車場がほしい(70代以上男性)
- ・町商工店の休店。町の中がさみしく、外に大きな産業を作っても町中がガランとしていては、活性化はできないと思います。中心地であった商店街の活性化を、早期に人の集まる場所にしていくことだと思います(60代女性)

(交流について)

- ・商店街の活用(今はシャッター街みたいだ)。高齢者が集える所等(60代女性)
- ・北方町単独では規模が小さく、何をやるにしても無理があると思う。隣接市と町の連携を図り、取り組むことが重要と思う(70代以上男性)

(交通網について)

- ・公共交通網の充実(60代男性)
- ・高齢者のインフラ(交通等)整備(60代男性)

(その他、総合)

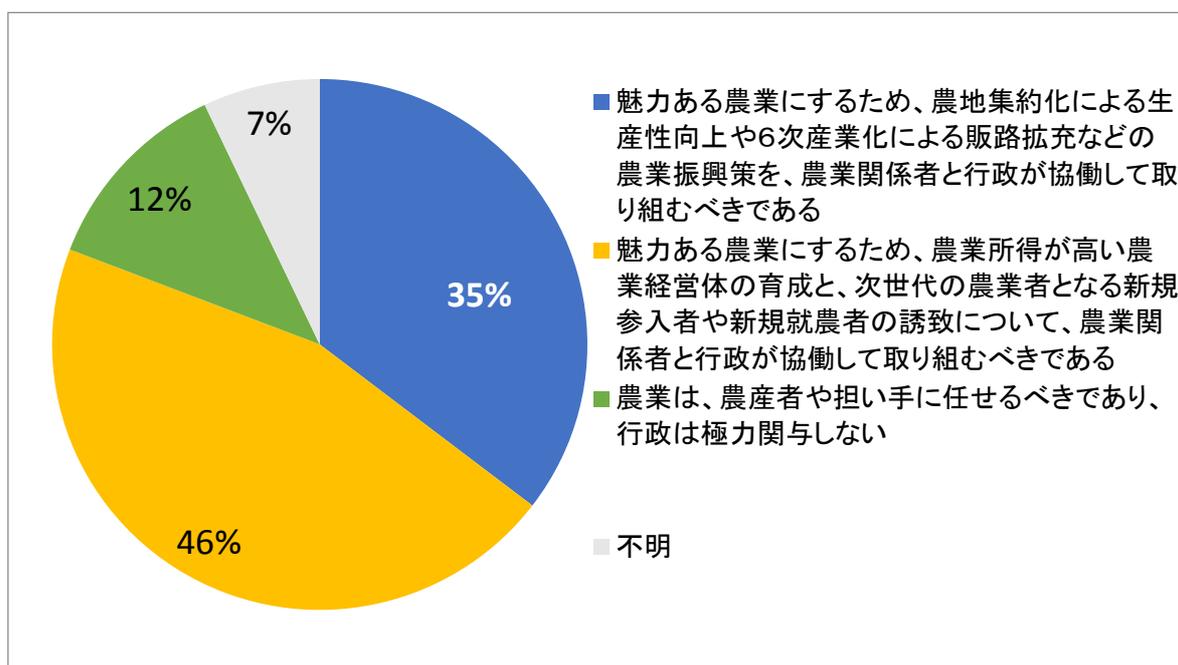
- ・今となってはどうしようもないので、せめて今住んでいる人たちが幸せだと感じる町を作ってもらえれば、人口の流入もあるのではと思う(財政的に福祉的に)(60代男性)
- ・税収確保なら理解できるが・・・(50代男性)
- ・人口減、収入減は必然。町は出費減に努めるべき、新庁舎の建設などはもつてのほか、無駄な出費です(70代以上男性)
- ・まちづくりのテーマに関係あるかどうかわかりませんが、ずっと住んでいて他市町村より町民税、上下水道の料金が高いと思います。これを見直せば、もう少し人口流出が止められると思うのですが(50代男性)
- ⑥個人にまかせる。組織をつくってもライフラインが寸断され、町のトップも被害に合う、指揮がとれなくなる。
- ④食育に力を入れてください。医療費増大・国民健康保険税、これ以上高くならないよう食育に力を注ぐ、食の仕方で生活習慣病の予防、また一次予防ができる。
- ②地域の農作物は付加価値の高い有機、特別栽培に力を入れ、海外に向けても誇れる商品作り。芝は土づくり、まちづくりの基本は人づくりから、マンション等に住む自治会に入っていない方々の中に知恵袋がいっぱい存在しているので、その知恵の活用を多いにするべきです(60代女性)

問5. 新たなまちづくり構想(案)におけるエリアごとの目標について

問5(1) 農業振興エリアの取り組み目標について

■「農業所得が高い農業経営体の育成と、次世代の農業者となる新規参入者や新規就農者の誘致」が46%(199人)と最も多く、次いで「農地集約化による生産性向上や6次産業化による販路拡充などの農業振興策」の35%(155人)であった。魅力ある農業にするため農業関係者と行政が協働して取り組むべきであるとする人は、合わせて81%と大多数を占める。

図-20 農業振興エリアの取り組み目標について



単位/人

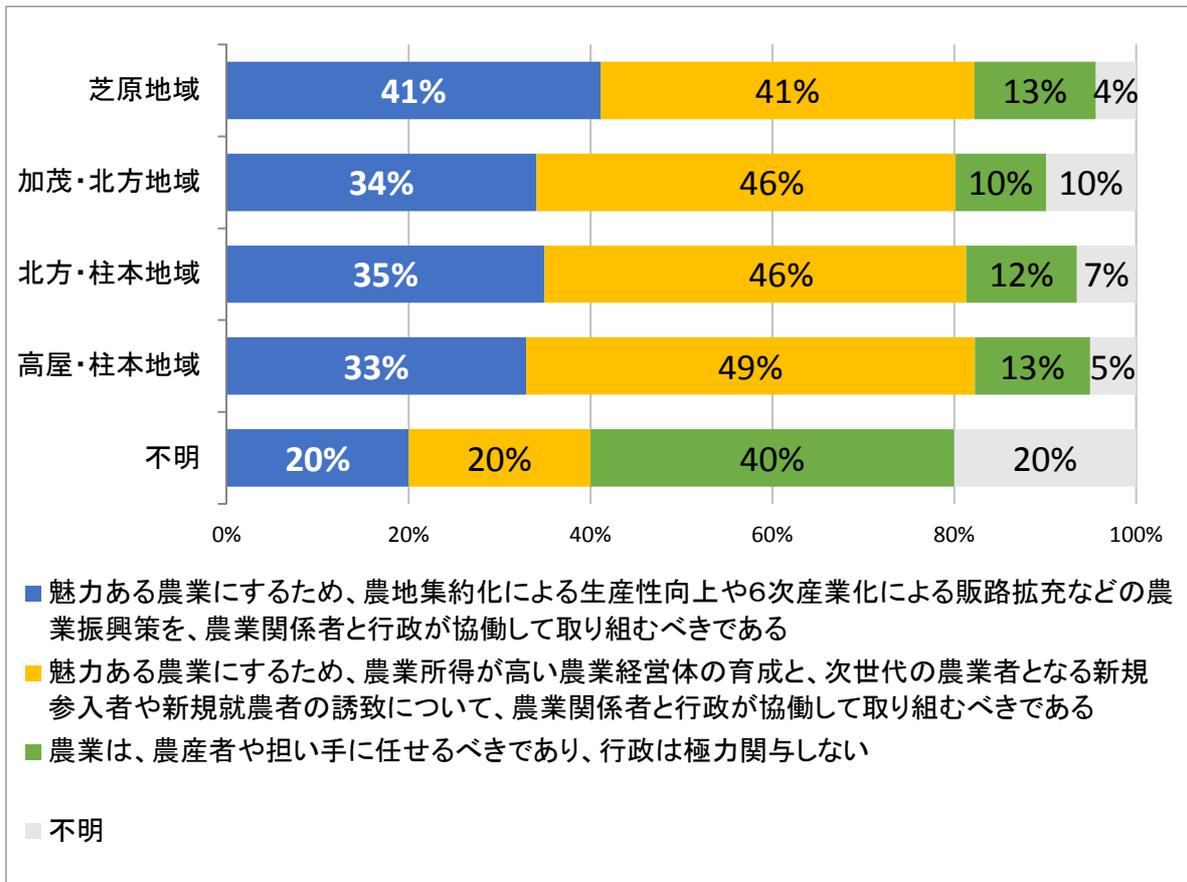
1 魅力ある農業にするため、農地集約化による生産性向上や6次産業化による販路拡充などの農業振興策を、農業関係者と行政が協働して取り組むべきである	155
2 魅力ある農業にするため、農業所得が高い農業経営体の育成と、次世代の農業者となる新規参入者や新規就農者の誘致について、農業関係者と行政が協働して取り組むべきである	199
3 農業は、農産者や担い手に任せるべきであり、行政は極力関与しない	53
不明	31
全体	438

【クロス集計 地域】

■ 芝原地域では、「農地集約化による生産性向上や6次産業化による販路拡充などの農業振興策」の割合が4地域で最も高く、「農業所得が高い農業経営体の育成と、次世代の農業者となる新規参入者や新規就農者の誘致」は最も低い。

■ 高屋・柱本地域では、「魅力ある農業にするために、農業所得が高い農業経営体の育成と、次世代の農業者となる新規参入者や新規就農者の誘致について、農業関係者と行政が協働して取り組むべきである」の割合が4地域で最も高い。

図-21 地域別・農業振興エリアの取り組み目標について

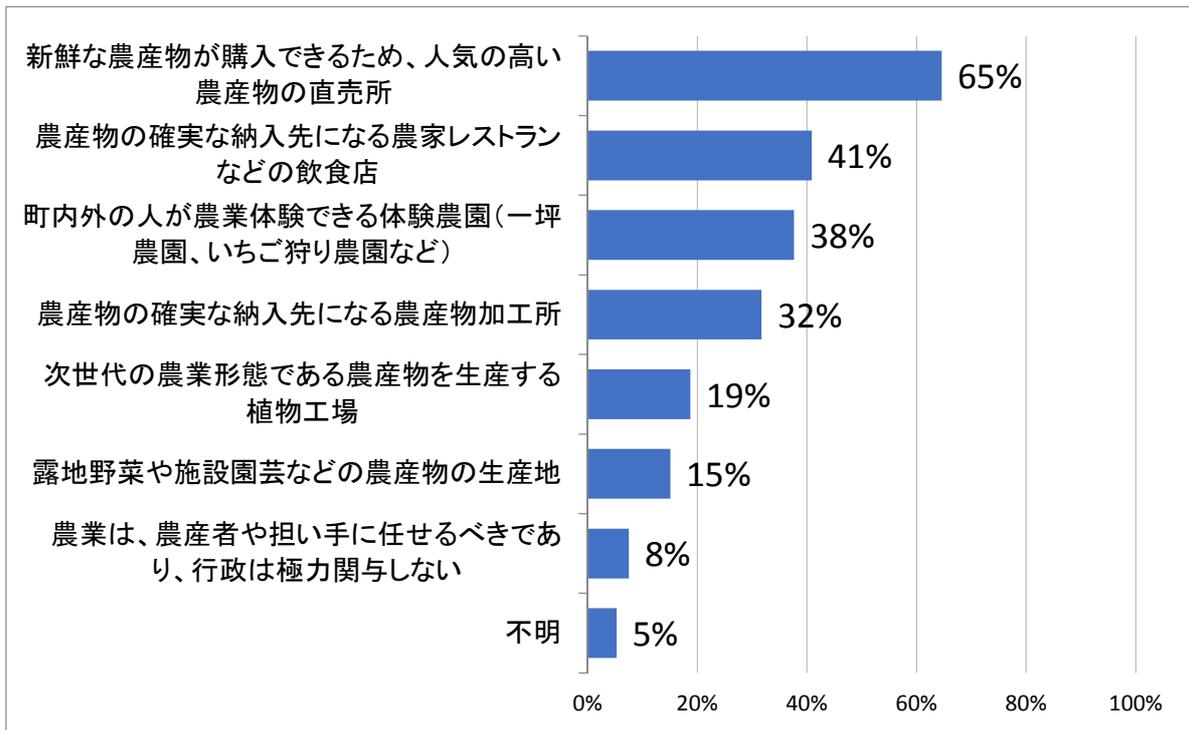


地域	魅力ある農業にするため、農地集約化による生産性向上や6次産業化による販路拡充などの農業振興策を、農業関係者と行政が協働して取り組むべきである	魅力ある農業にするため、農業所得が高い農業経営体の育成と、次世代の農業者となる新規参入者や新規就農者の誘致について、農業関係者と行政が協働して取り組むべきである	農業は、農産者や担い手に任せるべきであり、行政は極力関与しない	不明	総計
芝原地域	37	37	12	4	90
加茂・北方地域	48	65	14	14	141
北方・柱本地域	43	57	15	8	123
高屋・柱本地域	26	39	10	4	79
不明	1	1	2	1	5
総計	155	199	53	31	438

問5(2) アグリ新産業エリアで農業振興に必要と思われるもの

- 「新鮮な農産物が購入できるため、人気の高い農産物の直売所」が 65% (283) と最も多く、回答者の 3 分の 2 近くを占める。
- 続いて「農産物の確実な納入先になる農家レストランなどの飲食店」の 41% (179 人)、「町内外の人が農業体験できる体験農園」の 38% (165 人)、「農産物の確実な納入先になる農産物加工所」の 32% (139 人)が多かった。

図-22 アグリ新産業エリアで農業振興に必要と思われるもの



(複数回答)

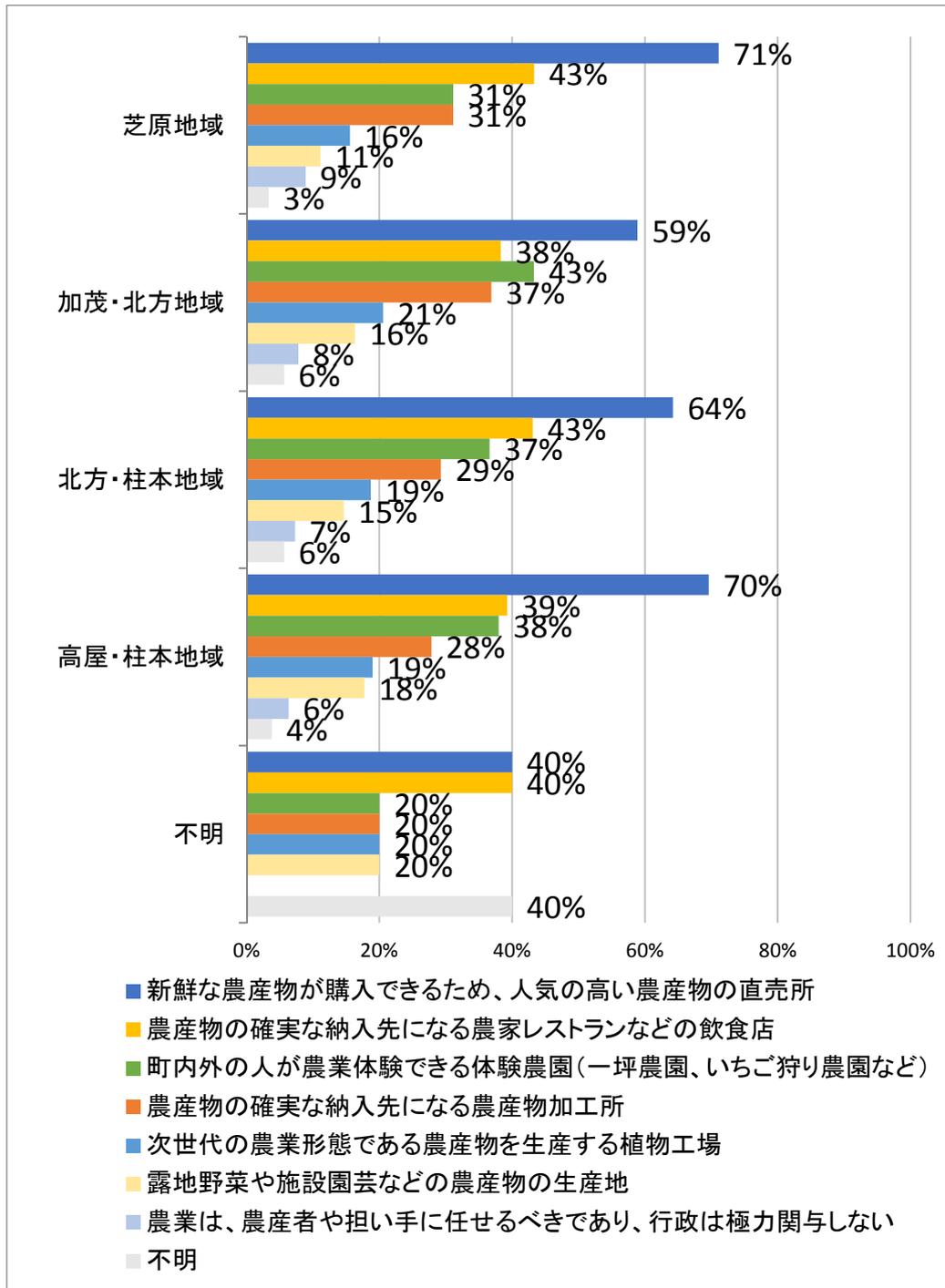
単位/人

4	新鮮な農産物が購入できるため、人気の高い農産物の直売所	283
2	農産物の確実な納入先になる農家レストランなどの飲食店	179
1	町内外の人が農業体験できる体験農園(一坪農園、いちご狩り農園など)	165
3	農産物の確実な納入先になる農産物加工所	139
5	次世代の農業形態である農産物を生産する植物工場	82
6	露地野菜や施設園芸などの農産物の生産地	66
7	農業は、農産者や担い手に任せるべきであり、行政は極力関与しない	33
	不明	23
全体		438

【クロス集計 地域】

- 芝原地域では、「農産物の直売所」の割合が4地域で最も高く、「体験農園」は最も低い。
- 加茂・北方地域では、「体験農園」と「農産物加工所」が共に4地域で最も高く、「農産物の直売所」の割合は最も低い。
- 北方・柱本地域では、「農産物の直売所」の割合が4地域で最も高い。
- 高屋・柱本地域では、「露地野菜や施設園芸などの農産物の生産地」の割合が4地域の中で最も高い。

図-23 地域別・アグリ新産業エリアで農業振興に必要と思われるもの



単位／人

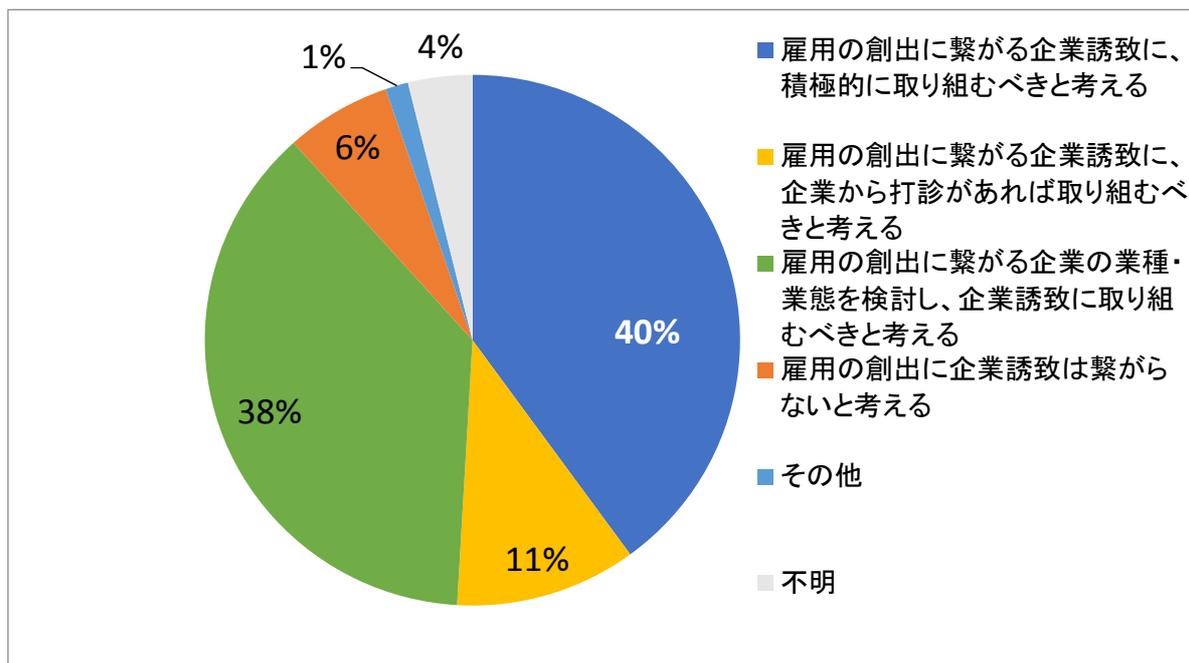
地域	全体	新鮮な農産物が購入できるため、人気の高い農産物の直売所	農産物の確実な納入先になる農家レストランなどの飲食店	町内外の人が農業体験できる体験農園（一坪農園、いちご狩り農園など）	農産物の確実な納入先になる農産物加工所	次世代の農業形態である農産物を生産する植物工場	露地野菜や施設園芸などの農産物の生産地	農業は、農産者や担い手に任せるべきであり、行政は極力関与しない	不明
芝原地域	90	64	39	28	28	14	10	8	3
加茂・北方地域	141	83	54	61	52	29	23	11	8
北方・柱本地域	123	79	53	45	36	23	18	9	7
高屋・柱本地域	79	55	31	30	22	15	14	5	3
不明	5	2	2	1	1	1	1	0	2
総計	438	283	179	165	139	82	66	33	23

問5(3) 町の人口流出抑制の施策として、雇用創出を企業誘致で取り組むことについて

■「雇用の創出に繋がる企業誘致に、積極的に取り組むべきと考える」が40%(175人)と最も多く、次いで「雇用の創出に繋がる企業の業種・業態を検討し、企業誘致に取り組むべきと考える」の38%(164人)であった。

■「雇用の創出に繋がる企業誘致に、企業から打診があれば取り組むべきと考える」は11%(28人)で、雇用の創出に繋がる企業誘致に取り組むべきと考える人は、合わせて89%と大多数を占める。

図-24 町の人口流出抑制の施策として、雇用創出を企業誘致で取り組むことについて



単位/人

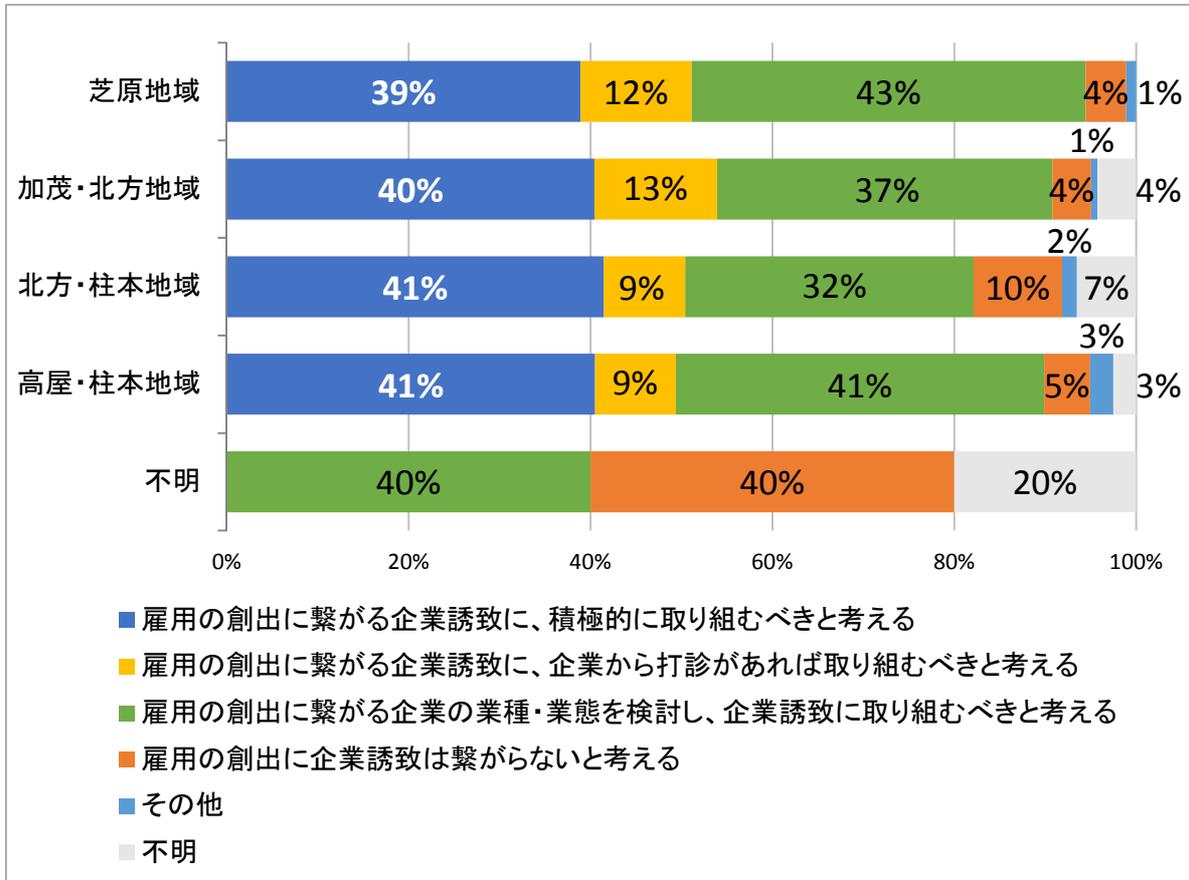
1	雇用の創出に繋がる企業誘致に、積極的に取り組むべきと考える	175
2	雇用の創出に繋がる企業誘致に、企業から打診があれば取り組むべきと考える	48
3	雇用の創出に繋がる企業の業種・業態を検討し、企業誘致に取り組むべきと考える	164
4	雇用の創出に企業誘致は繋がらないと考える	28
5	その他	6
	不明	17
	全体	438

【クロス集計 地域】

■ 芝原地域では、「雇用の創出に繋がる企業の業種・業態を検討し、企業誘致に取り組むべきと考える」の割合が4地域の中で最も高い。

■ 北方・柱本、高屋・柱本地域では、「雇用の創出に繋がる企業の業種・業態を検討し、企業誘致に取り組むべきと考える」の割合が4地域の中で最も高い。

図-25 地域別・町の人口流出抑制の施策として、雇用創出を企業誘致で取り組むことについて



単位／人

地域	雇用の創出に繋がる企業誘致に、積極的に取り組むべきと考える	雇用の創出に繋がる企業誘致に、企業から打診があれば取り組むべきと考える	雇用の創出に繋がる企業の業種・業態を検討し、企業誘致に取り組むべきと考える	雇用の創出に企業誘致は繋がらないと考える	その他	不明	総計
芝原地域	35	11	39	4	1	0	90
加茂・北方地域	57	19	52	6	1	6	141
北方・柱本地域	51	11	39	12	2	8	123
高屋・柱本地域	32	7	32	4	2	2	79
不明	0	0	2	2	0	1	5
総計	175	48	164	28	6	17	438

【自由回答】

（交通の便について）

- ・公共交通機関の充実(50代女性)
- ・雇用の創出と人口流出抑制は必ずしも結び付かない。住環境(交通の便)の良いところに人は集まる
- ・名古屋等へ電車を使って通勤する場合、駅までも自家用車を使ってはいけない会社が増えてきている。現在のバスの運行状況では、とても毎日の通勤に利用できるものとは言えず、結果、町を離れることになる場合が多くなっていると聞いています。通勤や通学の人たちが利用できるようなコミュニティバス等があってもいいのかなと思います。高齢者にとっても、それは大事なことになってくると思います(40代男性)

（業種について）

- ・製造業は今後も海外生産が主流で難しい。また誘致できても、企業の都合で撤退すれば町は破綻しかねない。非製造業なら可能性と将来性がありそう。地域に根付きそうな非製造業で、中小の企業をいくつかを誘致すると、リスク分散が可能(50代男性)

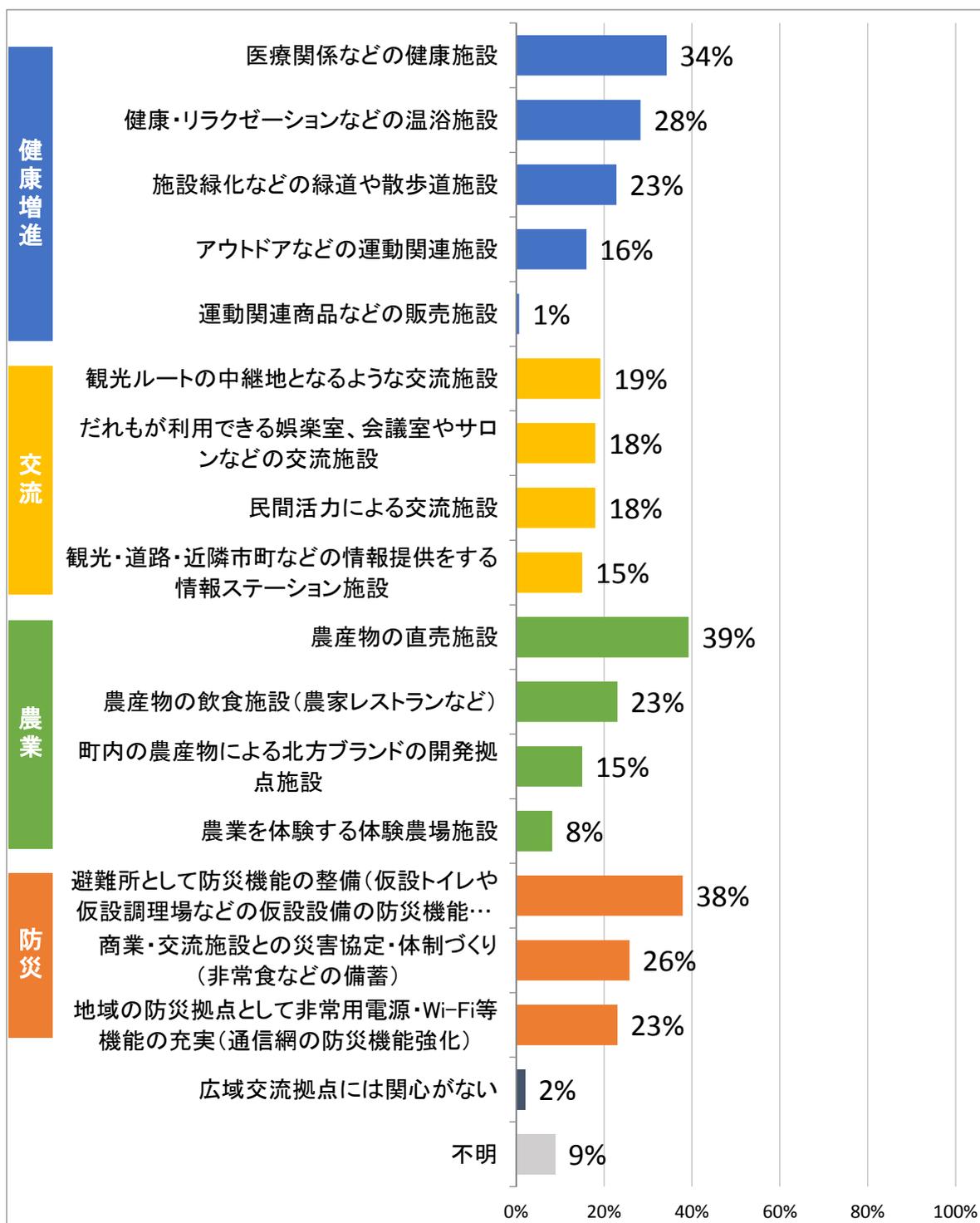
（その他）

- ・本音を税収確保と明確にした上でなら選択できるが・・・(50代男性)

問5(4) 広域交流拠点に関心のある機能や、取り入れて検討していくべきものについて

- 全体では「農産物の直売施設」(農業に関する内容)が 39%(172 人)と最も多く、次いで「避難所として防災機能の整備」(防災に関する内容)の 38%(166 人)であった。
- 続いて、「医療関係などの健康施設」の 34%(150 人)、「健康・リラクゼーションなどの温浴施設」の 28%(124 人)と、健康増進に関する内容が多かった。

図-26 広域交流拠点に関心のある機能や、取り入れて検討していくべきものについて



(複数回答・4つまで)

単位／人

1	健康増進に関する内容	
1-1	医療関係などの健康施設	150
1-3	健康・リラクゼーションなどの温浴施設	124
1-2	施設緑化などの緑道や散歩道施設	100
1-4	アウトドアなどの運動関連施設	70
1-5	運動関連商品などの販売施設	3
2	交流に関する内容	
2-4	観光ルートの中継地となるような交流施設	84
2-2	だれもが利用できる娯楽室、会議室やサロンなどの交流施設	79
2-3	民間活力による交流施設	79
2-1	観光・道路・近隣市町などの情報提供をする情報ステーション施設	66
3	農業に関する内容	
3-3	農産物の直売施設	172
3-4	農産物の飲食施設(農家レストランなど)	101
3-1	町内の農産物による北方ブランドの開発拠点施設	66
3-2	農業を体験する体験農場施設	36
4	防災に関する内容	
4-3	避難所として防災機能の整備(仮設トイレや仮設調理場などの仮設設備の防災機能強化)	166
4-1	商業・交流施設との災害協定・体制づくり(非常食などの備蓄)	113
4-2	地域の防災拠点として非常用電源・Wi-Fi等機能の充実(通信網の防災機能強化)	101
5	広域交流拠点には関心がない	9
	不明	39
	全体	438

【クロス集計 地域】

（健康増進に関する内容）

- 芝原地域では「アウトドアなどの運動関連施設」の割合が比較的高く、「健康・リラクゼーションなどの温浴施設」と「施設緑化などの緑道や散歩道施設」は比較的低い。
- 北方・柱本地域では、「施設緑化などの緑道や散歩道施設」の割合が比較的高い。
- 高屋・柱本地域では、「健康・リラクゼーションなどの温浴施設」の割合が比較的高い。「アウトドアなどの運動関連施設」と「医療関係などの健康施設」が比較的低い。

（交流に関する内容）

- 北方・柱本地域では、「観光・道路・近隣市町などの情報提供をする情報ステーション」の割合が比較的高く、「民間活力による交流施設」は比較的低い。
- 高屋・柱本地域では、「観光ルートの中継地となるような交流施設」の割合が比較的高く、「観光道路・近隣市町などの情報提供をする情報ステーション施設」は比較的低い。

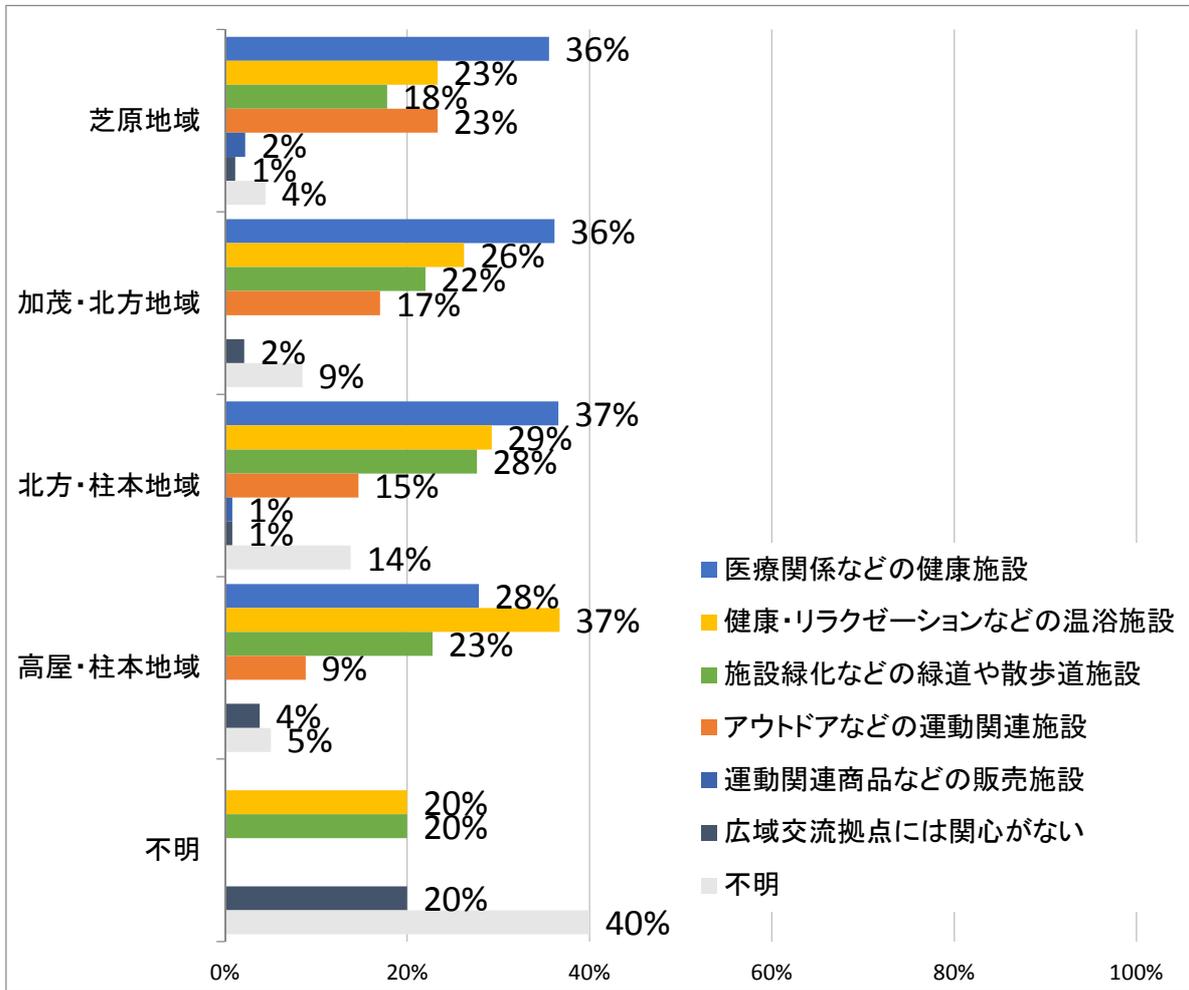
（農業に関する内容）

- 芝原地域では「農産物の飲食施設」の割合が比較的高く、「農業を体験する体験農場施設」は比較的低い。
- 北方・柱本地域では、「町内の農産物による北方ブランドの開発拠点施設」の割合が比較的低い。
- 高屋・柱本地域では、「町内の農産物による北方ブランドの開発拠点施設」と「農業を体験する体験農場施設」の割合が共に比較的高く、「農産物の飲食施設」は比較的低い。

（防災に関する内容）

- 芝原地域では「地域の防災拠点として非常用電源・Wi-Fi 等機能の充実」の割合が比較的高い。
- 加茂・北方地域では、「商業・交流施設との災害協定・体制づくり」の割合が比較的高く、「地域の防災拠点として非常用電源・Wi-Fi 等機能の充実」は比較的低い。
- 北方・柱本地域では、「商業・交流施設との災害協定・体制づくり」の割合が比較的低い。
- 高屋・柱本地域では、「地域の防災拠点として非常用電源・Wi-Fi 等機能の充実」の割合が比較的高い。

図-27 地域別・広域交流拠点に関心のある機能や、取り入れて検討していくべきものについて
(健康増進に関する内容)

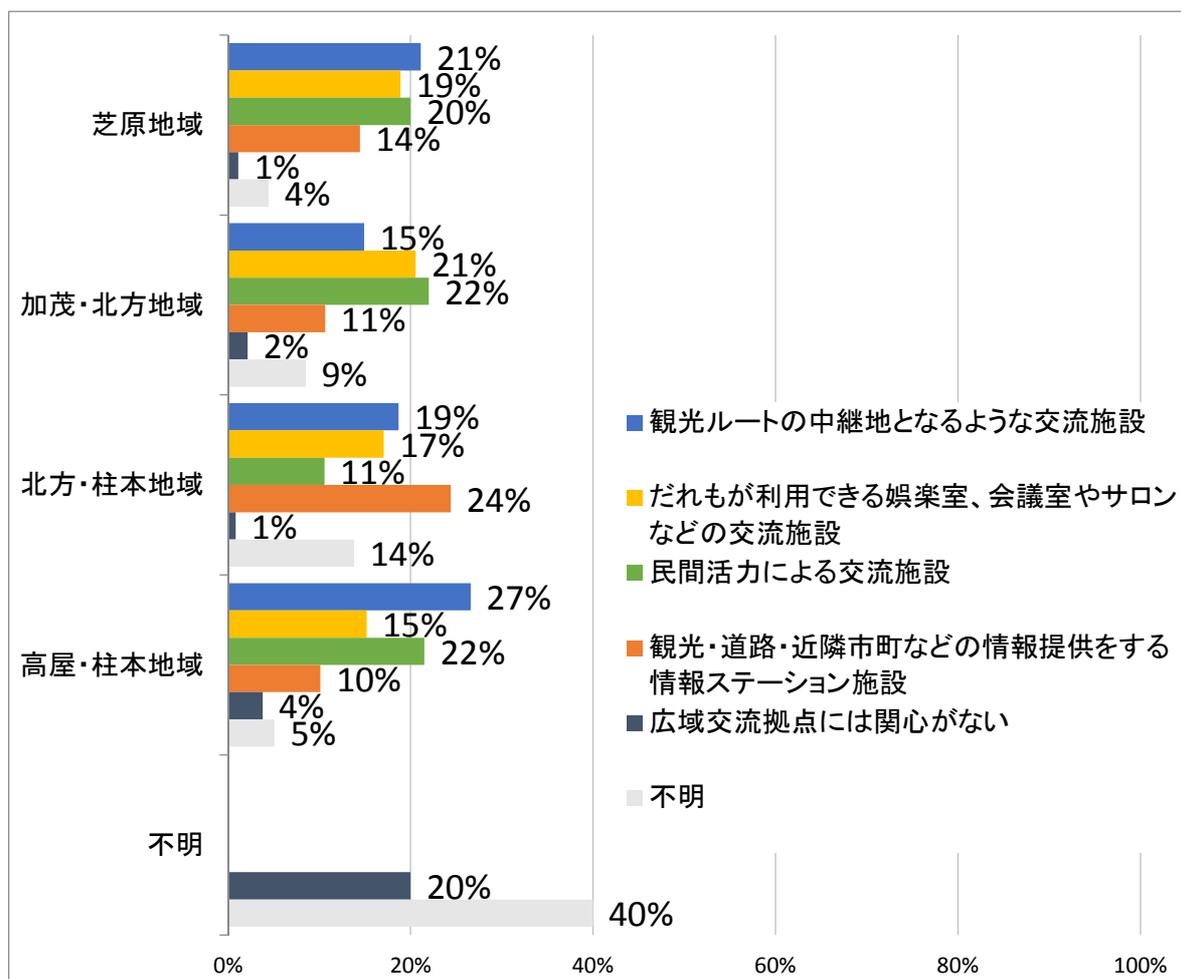


(健康増進に関する内容)

単位/人

地域	全体	康施設	医療関係などの健康施設	健康・リラクゼーションなどの温浴施設	道や散歩道施設	施設緑化などの緑道や散歩道施設	アウトドアなどの運動関連施設	運動関連商品などの販売施設	運動関連商品など	関心がない	広域交流拠点には	不明
芝原地域	90	32	21	16	21	2	1	4				
加茂・北方地域	141	51	37	31	24	0	3	12				
北方・柱本地域	123	45	36	34	18	1	1	17				
高屋・柱本地域	79	22	29	18	7	0	3	4				
不明	5	0	1	1	0	0	1	2				
総計	438	150	124	100	70	3	9	39				

図-28 地域別・広域交流拠点に関心のある機能や、取り入れて検討していくべきものについて
(交流に関する内容)

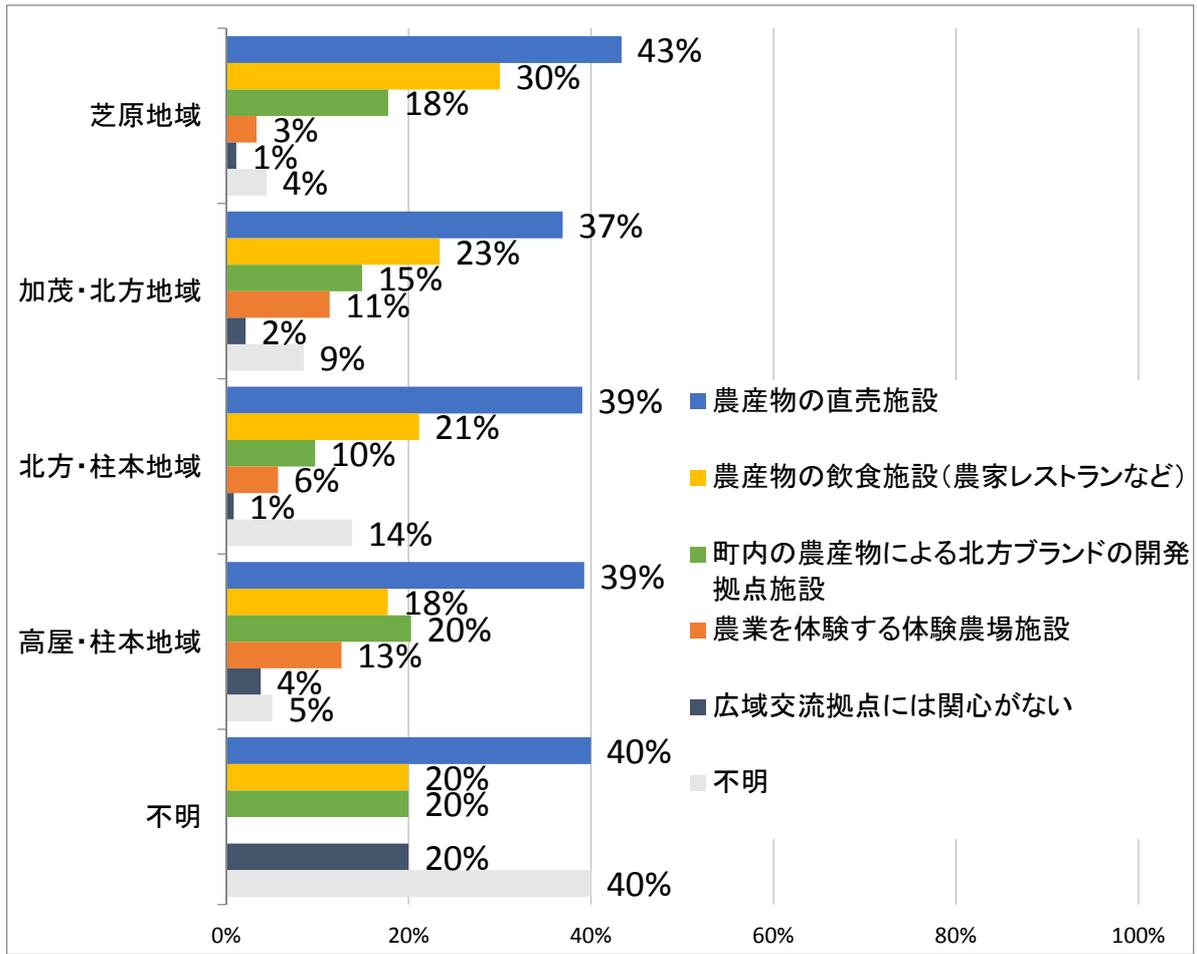


(交流に関する内容)

単位/人

地域	全体	観光ルートの中継地となるような交流施設	だれもが利用できる娯楽室、会議室やサロンなどの交流施設	民間活力による交流施設	観光・道路・近隣市町などの情報提供をする情報ステーション施設	広域交流拠点には関心がない	不明
芝原地域	90	19	17	18	13	1	4
加茂・北方地域	141	21	29	31	15	3	12
北方・柱本地域	123	23	21	13	30	1	17
高屋・柱本地域	79	21	12	17	8	3	4
不明	5	0	0	0	0	1	2
総計	438	84	79	79	66	9	39

図-29 地域別・広域交流拠点に関心のある機能や、取り入れて検討していくべきものについて
(農業に関する内容)

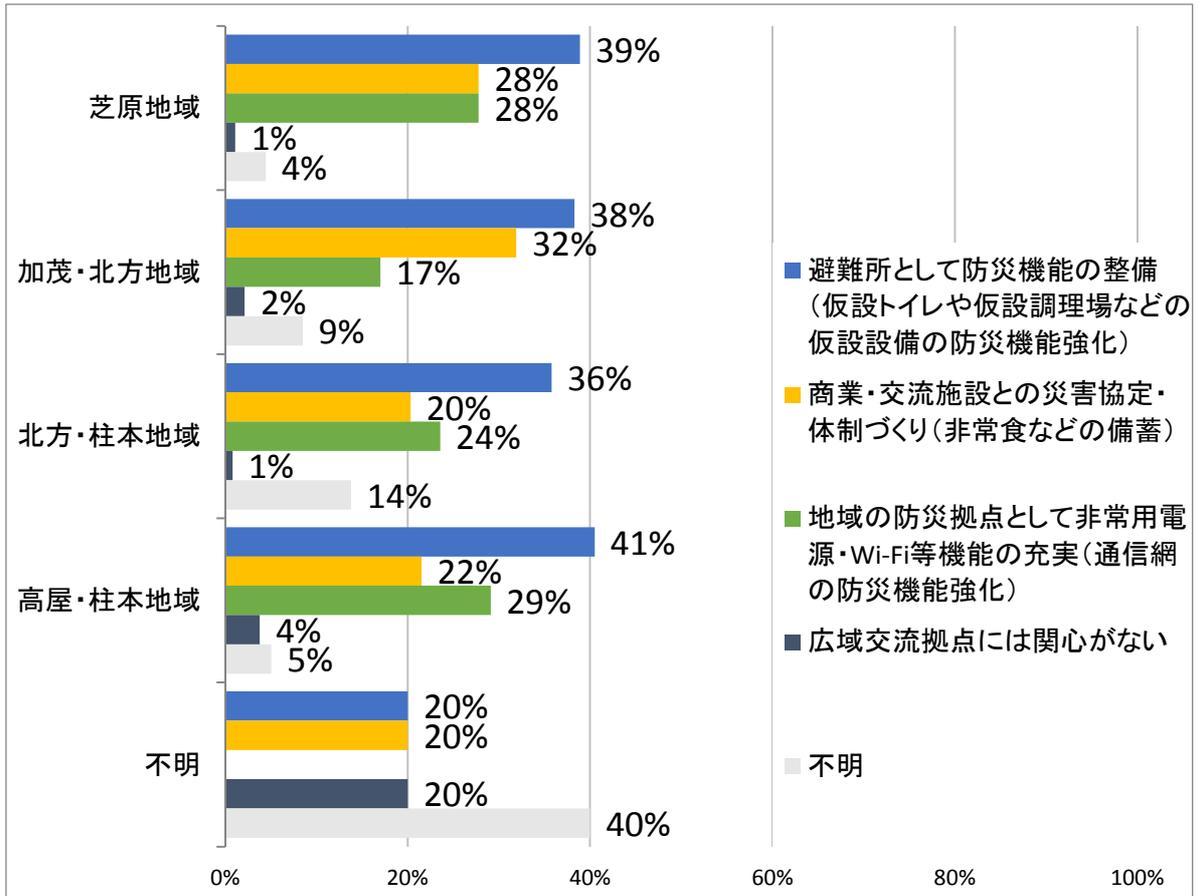


(農業に関する内容)

単位/人

地域	全体	農産物の直売施設	農産物の飲食施設 (農家レストランなど)	町内の農産物による北方ブランドの開発拠点施設	農業を体験する体験農場施設	広域交流拠点には関心がない	不明
芝原地域	90	39	27	16	3	1	4
加茂・北方地域	141	52	33	21	16	3	12
北方・柱本地域	123	48	26	12	7	1	17
高屋・柱本地域	79	31	14	16	10	3	4
不明	5	2	1	1	0	1	2
総計	438	172	101	66	36	9	39

図-30 地域別・広域交流拠点に関心のある機能や、取り入れて検討していくべきものについて
(防災に関する内容)



(防災に関する内容)

単位/人

地域	全体	避難所として防災機能の整備 (仮設トイレや仮設調理場など の仮設設備の防災機能強化)	商業・交流施設との災害協定・ 体制づくり(非常食などの備 蓄)	地域の防災拠点として非常用電 源・Wi-Fi等機能の充実(通信網の 防災機能強化)	広域交流拠点には関心がない	不明
芝原地域	90	35	25	25	1	4
加茂・北方地域	141	54	45	24	3	12
北方・柱本地域	123	44	25	29	1	17
高屋・柱本地域	79	32	17	23	3	4
不明	5	1	1	0	1	2
総計	438	166	113	101	9	39

【自由回答】

回答数(人) 29

①健康増進に関する内容

(運動施設について)

- ・アウトドアは室内、土日も(70代以上女性)
- ・このあたりにはあまりないアスレチック施設や、プールやスケート場等の施設があると、住民も増えると思う(30代女性)
- ・元名鉄電車軌道地を健康ベルトゾーンとして整備し活用する。ウォーキング、体力測定機具、遊具 etc.(70代以上男性)
- ・町内のハイキングコースがあったかと思いますが、わかりやすい案内図があればいいかな。最終地点を役場にして、ウォーキングを自由にできてスタンプをもらい、個数によって町内で買い物ができる券などをいただけるとか(50代女性)
- ・温水プールが無理であるなら、大野温水プールの割引をしてほしい。温浴だけでは、交流は図れるが、運動としてできるコースを。穂積のように(100円)レストラン、(農家)+温泉+プールで歩く施設(60代女性)
- ・北方町を一周する遊歩道・ジョギングコースを設置し、北方町の広さを実感し、町に対する愛着を深める(60代男性)

(福祉・医療施設について)

- ・公営の介護、特養等の施設(60代女性)
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。私たちが住んでいる北部地方には眼科の医者がなく、高齢者は通院するのに大変です。できれば、この地区に眼科を誘致してほしい。お願いいたします(70代以上女性)
- ・老人の方々に働いていただける施設(生き甲斐を持ってもらい、働くことで健康になってもらえるはず)。温浴施設・介護施設を役場近くに併設し、職員を先頭に介護を学び、ボランティアで働いた人を優先に施設利用できるように考える。働いた人は、入所したときに働く人々の苦勞がわかるから横着しない。→介護しやすい(50代男性)

②交流について

(文化・教育施設について)

- ・きりりホールなどを中心に、農林高校の演劇部やOBの方々などにも手伝ってもらって、若者の演劇・ダンスなどのフェスティバルなど、今風のイベントや野外フェスなどあれば楽しいのでは・・・？ それをインターネットで中継してもらって、口コミが広がるとか、お金をかけずに人気を高めていくのはありかも(50代女性)
- ・図書館の多角化(美術館、いろいろなものの常設展示)と拡充(70代以上男性)

(交流の場について)

- ・町の発展のためには、人が集まる場所、交流する所が必要で、1人ひとりの意見によって集まれる場所が必要だと思います(60代男性)
- ・道端にベンチ一つ、空き地に東屋の一つでもあって、皆が日常的に交流できるアイテムを街中に設置(40代男性)
- ・その施設とは、建物が主でしょうか。後につながる建物であればよいですが、建物の維持が高くつくものであればやめたいです(50代女性)
- ・小さな施設をチマチマ作っても拠点とはなり得ない。人を集められるのは巨大施設のみ(地方では不可)(70代以上男性)
- ・法律レベルでの規制緩和は必要と思うが、町政レベルではあまり関与しなくてもよい。広域交流拠点に対する考えがわかりにくい。商業施設と言うなら単なる産業の話として、企業誘地として考えればよいのではないか(40代男性)
- ・買物は駐車場整備された大型店、スーパー等へ行きがちであり、旧来の商店街へはほとんど行かない。旧来の商店街を活性化する方策が必要であると思う。何か魅力あるものを創造してほしい(60代男性)

③農業に関する内容

(直売・飲食施設について)

- ・北方町の体育館、処理場の間に、農業関係の直売施設、飲食施設を設置するといいなあと考えます。まわりの農地でそら豆(みょうがぼち作り)とか、岐阜市河渡地区(枝豆とブロッコリー)のように、一年通して農地を活用する方法を考えてほしい(60代女性)
- ・道の駅を作ってははどうでしょう(30代男性)
- ・道の駅みたいな施設(40代男性)
- ・自転車で他の町内の「おんさい市場」等行っていますが、ますます高齢化していく現状、北方町みたいな町にないのが不思議。押し車でも行けるそんな直売施設を強く望みます(70代以上女性)
- ・刈谷ハイウェイオアシスみたいな子どもの遊び場がある施設が併設され、道の駅みたいに食べ物の販売や飲食店の施設があるといい(50代女性)

(農業全般について)

- ・町内の人々が500円とか1000円とかで小さいバケツ1杯にブルーベリーを詰められたり、イチゴ狩り、キノコ採り、栗拾いなどができたりするような公園兼農園兼散歩道のようなところがあれば、子育て世代も高齢者も楽しいと思います。いちじく採りや、つくし、ヨモギ摘みなど、昔はどこでもできましたが、今はそういう所も少ないので、身近にそういうことを楽しめる場所がほしいです。町内の人には格安で、でも1家族1回までという具合にし、町外の人にはそれなりの値にしてほしいです。そういうところがあれば、そういう町に私は住みたいです(50代女性)
- ・農業問題については新たな取り組みで成功している市町村が多くあるので、参考にしてみてもどうか。若者がやってみたいと思える農業もあるのではないかと(50代女性)

- ・北方町の農業についてあまり知らないことに気づきました(今回アンケートに記入するにあたって思いました)。JAのライスセンターが老人用の施設になってしまい、現在どうなっているか知りたいです。農林高校が存在する町なので、独自のブランドを立ち上げ、町おこしにつながっていけるといいですね(50代女性)

⑥その他

(交通機関について)

- ・他町にて実施されています、町内どこでも200円(タクシーによる移動手段)という方法で、人に頼らず行動できる。これは良いやり方だと思います。特に電車が廃止され、車に乗れない高齢者は、高くて不便な(特に黒定町民)バスで外出の機会を減らしました。足の確保は健康にもつながり、医療費軽減になります。ハコ物ばかりに金を使わず、こちらに予算をお願いします(70代以上女性)
- ・今は自分だけの小型車があります。将来車を重ねていった時の心配として、買物弱者になりそう。病院へ行くなど、安い料金で車に乗り出かけられる制度等考えていただけたらと思っています(70代以上女性)
- ・公共交通機関を充実してほしい。特にJR穂積駅へのアクセスが悪いので、電車やモノレールの建設など、思い切った計画が必要だと思う。そうすることによって、名古屋市へのベッドタウンとしての発展の可能性が高まると思います(50代男性)
- ・結局、鉄道の乗り入れがないので駅までが遠い。自動車社会とはいえ、商業が増えると渋滞する。まず、車を使わなくても便利な町にする必要があるのでは。北方町は縦に長いせいか、南側に住む町民には不便なことばかり。南東部にまちづくりは大切なことだと思うが、それによる縦貫道の渋滞や、交番がないので防犯面についても心配です。10年前と比べて南の方は外国人も多く、治安も悪い。将来のことばかり目を向け過ぎず、今の問題を解決していくこともまちづくりには必要なのではないのでしょうか？(40代女性)

(子育て支援・生活環境について)

- ・7.子育て支援や教育の充実(70代以上男性)
- ・医療制度の充実、子育て支援など、暮らしの充実につながる取り組みを他の地域よりも手厚くすれば、自然と人は集まると思う。少子高齢化と言いながら、子どもを産むための支援が他地域よりもあまり充実していないと思う。企業誘致も必要かもしれないが、北方に住んで岐阜市の会社に通ういわゆるベッドタウン的な感じで住んでいる人も多いと思うので、それならばもっと住民を増やし、飲食店や娯楽施設、商業施設を充実させることでも、新たなまちづくりはできると思う(30代女性)
- ・中高生を含む子どもらが、多世代で夜間(20時頃)、休日にも自由に過ごせる施設(30代女性)

(民間主導について)

- ・農家が行うことであり、行政がかかわれば農業に甘えが出る。民間の自主努力に任せるべき。何のために？国民対象？ツアーの客対象？何のメリットがあるの？トイレ+駐車場+α。バス等も休憩で寄りやすいもの。またハコモノ作るのか？又丸にあるものは何か？行政は方向性を導く手助けをすればよい(30代男性)
- ・生産者の目的がしっかりしていなければ、行政任せでは失敗でしょう(60代女性)

(その他)

- ・ 公衆電話が町内などすぐ見える所にあるといいのでは(60代女性)
- ・ ここにしかない魅力のあるものを作り育てていくこと(50代女性)
- ・ アピタなど農作物が高い(60代男性)
- ・ 5以外にも1-1(健康施設)、3-3(直売施設)、4-2(通信網の防災機能強化)を選択(40代女性)
- ・ 今回のテーマには関係ないかもしれませんが、以前より「お帰りチャイム」の時間にとても不安を感じています。夏季などは18時にチャイムが鳴っていますが、これでは遅過ぎると思います。最長でも17時までとして、子どもたちの安全を守っていただけませんか？(30代女性)
- ・ このアンケートを、費用をかけて実施する意味が理解できない。それに△印を付与した問題は相当意味不明。そして都合のよい答えだけを流用する。内訳にされるとは思えない(60代男性)
- ・ 北方町が出す「未来につなぐ心の米量」の賞金額は高すぎる。町の規模等からしても最高額は優秀者(5万円)程度の金額として、その差額は真に町民が必要とする事業に活用すべきと考える(税は真に必要な事業に使われて意味を持つ)(60代男性)
- ・ 農業をしたい人を募る。やる気はあるが土地のない人や、高齢者が世訪をしているため行き届いていない農地を活用して取り組む。また、指導できる人も確保する。コロナのようなリラクゼーションや温泉、レクリエーションなど家族が楽しめる大型の施設を作って活性化を図る。道の駅を作って町の特産品や農作物などを販売する。また農業体験のできる所も併設して、町外の人にも来られるようにする。若い世代の人が住みやすく、長く生活できるような町づくり。岐阜市、大垣市などのアクセスはいいので、町内に魅力的な施設や子育てへの補助、支援の場があるといい。防災に関しては、素早い対応を求める。備畜品の確保や、避難場所、トイレ、健康面、精神面のケア、情報など、今まで他の震災でのことを生かして行ってほしい。スマホ、PCを使用したわかりやすいPR(30代女性)

問6. 北方町の今後の新たなまちづくり構想についての意見・要望

■北方町の今後の新たなまちづくり構想について、子育て支援・教育、交通、農業・道の駅、憩い・健康づくりの場、住宅都市、空き家対策、新庁舎、雇用、税金、防災・安全、広域連携・合併、独自性、商店街など、多様な意見・要望がみられる。

【自由回答】

回答数(人) 182

(子育て支援・教育について)

- ・医療費が高校生まで無料になると良いと思う(30代女性)
- ・学童保育等、安心して親が働けるよう、時間の延長を希望する(40代女性)
- ・学童保育の充実(小6まで)(30代男性)
- ・小さい子どもがいるのですが、近所に大きな公園がないため、公園を増やしてほしいです(高屋白木)(30代男性)
- ・労働人口が減少してきているので、主婦の雇用が必要だと思う。主婦が安心して働けるように、子育て支援を積極的に行う必要がある。結果、少子化や人手不足問題の解決になると思う。企業努力だけでは育児支援は難しいので、行政ももっと積極的にやってほしい。北方は子育てするにはいい町だと思うので、岐阜の中でも一番住みやすい町になるようにがんばってもらいたい(20代女性)
- ・青少年のスポーツ振興対策です。教育者の方も勉強に対しては新しい取り組みをしていると思いますが、スポーツに関してはやや遅れ気味ではないかと思っています。原因としてはやはり少子化と、以前より多岐にわたるスポーツが増えているためか、先生方を含めた一般の指導者不足ではないかと感じています(一般の方の中には？と思う方もみえますが・・・)また、ママ当番があると家庭の負担はかなり重いので、特別な日を除いて免責にする。オリンピックもあります。勉強も大切ですが、スポーツは心身共に自分を成長させます。また、人に感動を与えます。町としての指導者の充実、用具や場所の提供などを長期的な展望で前進させてほしいと思います(70代以上男性)
- ・共働き(正社員)が増えている中で、保育園の利用時間が足りない。家の近くに行かせたくても、延長保育、早朝保育がある場所が限られている。今年、保育園に行くことになったが場所が離れており、職場とも逆方向で非常に通いづらいが、時間帯を考えると「致し方ないのか・・・」とあきらめている。最近山口市で保育料が無料になったと聞いたが、北方町では今後どのような政策を行っていくのか気になる(30代女性)
- ・子育てのしやすい町、働く人に住みよい町を目指してほしい。子どもたちの育成活動自体が、どんどんやりにくくなってきていると感じる。我々が子どもころ、北方町はいろいろな活動を積極的に立ち上げてきた(スポ少、KCL、ボーイスカウト etc.)。これらの活動が盛んな町は子どもたちが元気で、子育てのしやすい町と感じる一方、子どもが外で遊ばない町は子育てに魅力あるように見えないことも多い。活動そのものの直接支援を行政が行うのは難しいかもしれないが、インフラ整備などを通じた支援は可能だと思う。一例として「子どもが元気に育つ町」を目指し(ビジョン)、そのための手段として企業誘地などの手段を考えていくことが大事ではないか(40代男性)
- ・他の自治体より魅力的な子育て支援体制があれば、自ずと子育て世代の若者たちが集まってくると思います。不妊治療に助成金を出す等の支援が大切なのでは。すでにやっているのでしょうか(50代男性)

- ・子どもの医療費を中学生まで引き上げてほしい(30代女性)
- ・一家に自家用車を何台も持つ必要はない。下取りするのがあたり前のこと。旧役場を北方町がいつまでも待っているのはおかしいこと。役所が行なう事業はすべて赤字である。公園をいっぱい作っても、そこで遊ぶ子どもがいない。後の管理のこと、使用されない物にお金をかけている。雇用など、名古屋まで電車30分で行けるのに、新たにづくなくてよい。北方にはハイタウンがある。新婚、乳幼児がもっと大きく優遇されれば子どもは増加する。夫だけの収入ではやっていけない奥さんが収入をつくれる町、西小をなくして未満児を預ける場所を作る、補助金を他の町村よりたくさん確保する。未来にもっとお金を使用してください(50代男性)
- ・最近口を開くと少子高齢化、人口減少など、特に行政では言われ、子どもが2人、3人いる家族に助成金が出ますが、この政策では一向に解決されません。そこで3世代同居家族に助成して子ども手当を出す、そして子育て支援や教育に力を入れていく。これが一番、若い世代を呼び込む新たなまちづくりだと思います(70代以上男性)
- ・北方町に引っ越してきて3年になります。1歳児を育てておりますが、とても子育てがしやすい町だと感じています。子ども、子育てに関する支援も手厚く、なにより必要な施設がコンパクトにまとまっていて行きやすいのが助かります。小さな町ならではの良さだと思いますので、新たな町づくりにもその良さを生かしてほしいです(30代女性)
- ・こども園もしくは幼稚園を作してほしい。穂積市や本巣市にあるのに北方町にないのはなぜか？ 子どもを預けて働きたいと思っているが、北方町に施設がないため実行できずにいる(保育園に見学に行ったが、トイレのにおいが教室に広がっているような所で、子どもを遊ばせたくない。改装する予定はないのか？ だいぶ古い建物だが…)。もし働くなら穂積市のこども園に預けて働きたいと思っているが、できれば北方町に預けたいので検討してほしい(30代女性)
- ・乳幼児～小学生の健全な成長を支援する事業をたくさんやってください。共働きの家では子育ての手間が乏しいと思います。休耕田で、子ども会単位で稲作はできないでしょうか。稲の成長を観察しておにぎりかもちつきまで、それぞれの町内の老人クラブでご指導していただくことはできないでしょうか。名鉄から線路敷を無償で借りて、花、野菜作り、体力増進、測定機具を置いて、子ども会と老人クラブで活動できないでしょうか。老人クラブでの知識・技術を頂戴して、子どもたちの健全育成を考えてはどうでしょうか。老人の健康維持にもなると思います(70代以上男性)
- ・清流平和公園はいい場だと思いますが、遊具が少ないし、物足りない。北方町にある公園はもうちょっと面白い遊具があるといい。人口を増やしたいということであれば、学童保育など児童を預かってもらえるように配慮してもらいたい。夏休みなどの長期の休みで学童に入れたいのに空きがない。同居だからだめだと断られたが、他の町では夏休みだけの学童をやっているところもある。教育委員会が決めることかもしれませんが、学校ともうちょっと連携を取ってもらいたいし、親の考えや、現場をちゃんと見るべきだと思います(50代女性)
- ・小さい子どもがいるのですが、近所に大きな公園がないため公園を増やしてほしいです(30代男性)
- ・少子化は、現在各スポーツ少年団の団員不足等影響が出ています。若い世代が家を建てるなら住むなら北方町が良いという意識を持っていただけるように、地域交流があり、子どもが一人でも外で遊べるような安心、安全の町をつくっていただきたいのです。その安心、安全が、子育てする若い世代に広まれば、自ずと人口も増えてくると思います(40代男性)

- ・子どもの教育に力を注いでください。良い教育区だと評判をとれば、子どもに良い教育をと考える親は多く引っ越してくるはずで。子どもの教育を優先する親は多い。そんな親が集まれば町は豊かになるはずで。現在、小学校、中学校の評判が悪いと聞きます(60代女性)
- ・高屋地区に児童館ができて、少子高齢化への取り組みは認めますが、なぜ1階のみの建物になったのか、少ない職員で全体を見ようとしているようにしか映りません。役場内にあふれている人員を削り、こういう子育ての場にこそ人員を増やしてほしいです。北方南小学校が地盤沈下を起こしていることをご存知ですか？ ご存知であれば対応をしていただきたいですし、ご存知でなければ早急に視察にお越しく下さい。児童が安全に安心して学べるように、ご配慮いただきますようお願いいたします。北方で生まれ育った子どもたちがずっと長く住んでいってくれることが大切なのだと思います。大事にされていれば、他から来た人たちも長く住んでくれるのではないのでしょうか(50代女性)

(交通について)

- ・岐阜大学病院へ通院できる路線バスの導入(60代女性)
- ・バス停の位置を見直してほしい(30代女性)
- ・国鉄から民営化にともない、JR東海道のダイヤが充実しており、名古屋までのアクセス利便性が非常に高まっているのにもかかわらず、北方～穂積駅のバス本数が少な過ぎる。名古屋・大垣方面に行くのに遠回り、岐阜駅まで行かなくてはならない。本巣市同様、小さめのコミュニティーバスが運行できないのか。穂積駅周辺に、月極駐車場等借りなくて済めば、住宅街として住みよい町・場所となる。防災放送が聞こえません。内容が途切れ途切れでわかりません。各家庭、設置タイプの防災受信機を取り付ければいいのでは。お年寄りのほとんどは耳が遠いので、いざという時、現時点では放送は役に立ちません。高齢化社会と言いつつ、肝心なところが抜けています(50代男性)
- ・今工事中の歩道、自転車は怖い。車道を自転車で走るのも怖い。303号線の歩道も狭い、今広げないと今後できないのではないかと(添付図有り)(70代以上女性)
- ・北方—JR岐阜駅の導線が長過ぎる。1時間1本のバスでも仕方がない気がする。30分1本の北方—JR穂積駅は導線短いし、負担が少ないので、バス小型化(豆バス)してでもこちらにシフトした方が助かります。自家用車がないと住んでいても困ることが多い。自家用車があるから、まだ何とかなる。年をとった時、自家用車を手放して、どうなるか？ バスのあり方が気になる… 補助の出し方を検討してほしい(曾我屋に連結させる方法もあるし…)。雇用の創出という文言がたくさん出て来ますが、本音は税収の確保ではないかと推測しています。本音を隠した議論は不毛ではないかと危惧します。少子高齢化はテーマが大き過ぎるし、このテーマに触れるのはミシュル・フーコーが指摘するように怖い。それを利用する立場が絶たないので… 「新たなまちづくり構想」は関係者の意見等を取り入れて、一歩でも二歩でも前進してほしい。魅力あるまちになってほしいと希望します(50代男性)
- ・公共交通機関の充実 本数の増加、岐阜市との料金の格差を減らす。学生には、バス通学が高いです。若い方が住み続ける町づくり 岐阜、名古屋への通勤を便利にする。駅までのバス運行の増加、駐車料金の助成、体育館、テニスコート等施設の増加。産後支援施設の設置 母子サポート(40代女性)
- ・もっと街灯を付けてほしい。野良ネコを増やさないようにしてほしい。新しくできた優先道路(南保からバローへ行く道)の信号機の設置。シンミアロッソの所、駐車スペースが少なく路駐が多い。見通しが悪くなるので、ミラーを設置するか、第2駐車場を設けるべきだ(30代女性)

- ・公共交通の利便性向上を目指してほしい。北方町はとてもコンパクトな町で、小・中学校に通うのは近くて便利ですが、でも大学、就職となった時、不便で転出せざるを得ないのが現状だと思います。北方町に企業誘致も必要かもしれませんが、北方町に住んでいても名古屋まで〇分で通学通勤できる！などと利便性が向上されれば、名古屋方面の大学や企業にも転出せず通えると思います。ふるさと納税を活用しては、ふるさと納税で北方町の税収を増やせたらいいと思います。北方の物がお礼の品にできればなお良いですが、各務原市のように岐阜県の名産品でもいいのではと思います。できることは少しでもがんばっていただいて、地域活性の費用にまわしてもらいたいです(50代男性)
- ・人口減少、少子高齢化の原因の一つは、岐阜市や駅近など利便性の良い所に移住してしまうことだと思います。名鉄の電車が廃線になってから車がないと移動できず、とても不便です。同じ思いをしている人は多いのではないのでしょうか。特に若い世代を増やすには、駅や町へのアクセスをもっと良くしなければいけないと思います。もっと住み良い町になることを期待しています(30代女性)
- ・高齢者の社会参加のための交通手段を考え、整備する必要があると思う。バス、タクシーが安価に便利に利用できるようにすべき(60代女性)
- ・北方町が衰退した原因のひとつは揖斐線の廃止にあると思う。バスは定刻に来ないし、乗車人数も少ない。それに、渋滞は自家用車で行っても同じようにある。交通網の充実が最も大事であるが、皆が利用しやすいように考えるべきである。例えば、穂積駅へのバス等、穂積から乗る場合、駅の前からは乗れない。バスを利用したくなくなる原因のひとつである(70代以上男性)
- ・国道303号線の北側は歩道がないにもかかわらず、側溝のふたがガタガタで通行するのにとても危険です。町にお願いすることでもないかも知れませんが、何とか国へ要望していただけないかと思います(50代男性)
- ・現在、役場からJR穂積駅に行くバスがない。これでは名古屋 or 三重の方で職場が見つかった場合、出ていくしかない。運転免許を持っている人の数だけ車がいるのが現状。歩いていると旧市内で空き家が目立つ。交通機関を充実させれば、上記問題はかなり改善されると思う。さらに一家に一台の車でよくなれば、経済的にも余裕ができて、住みやすい町になると思います。消費が上がればいろいろな店も集まってくるでしょう。まずは、農業企業誘致を考えるより、交通網を充実させてください(当然赤字)。がんばってください(60代男性)
- ・道路の整備が中途半端と思われる。歩道の改修の前に、社会福祉が他の自治体より劣っていることが町外への転出理由と聞くことがある(50代男性)
- ・住宅都市として発展してきたとのことですが、医療、保健、福祉の整備、また今回のアンケートにあるように、雇用の創出等は大変重要であると思うが、私が北方町に住むようになって24年となりますが、不便だなあと特に感じるのは、公共交通機関を使っただけの移動です。私は自家用車での移動が主であるが、もし自家用車がなかったら、運転免許を持っていなかったら、とても不便だと思う(実家がJR岐阜駅から徒歩5分の位置にあるので・・・)(50代女性)

(農業・道の駅について)

- ・北方のブランドって何でしょうか。農業中心が多いのでしょうか。みんなが参加できる地方ブランドづくりがあるといいですね(60代女性)
- ・農業振興の促進を強化して、魅力ある農業で農業所得をつくり、農業経営者の育成に、行政が協働していくことを願う(70代以上女性)

- ・ 北方町の面積はあまり広くないので、農業などの1次産業の振興では本巢市、穂積市などと協力をして考えてみてはどうですか。東海環状道のインターも近くにできて名古屋へのアクセスも良くなるので、発展が見込まれる良い時期だと思います(50代男性)
- ・ 1.農業の北方ブランドに関心があるが、果物や野菜は本巢や山県の方が上だろうから、花きで狙うといいと考える。田んぼアートとの関連性もある。2.農業振興に北方中学校、岐阜農林高校、岐阜大学などとタイアップして、農業への関心を高め、町での就職につなげ、人口増加を図る。3.新しい構想ゾーンの公共交通アクセスの確保(添付図有り)(30代男性)
- ・ 企業の誘致は難しいと思いますので、「道の駅」を作ってはいかがでしょうか？ 町内アンケートは役場の人がやっていますか？ 税金のむだ使いだと思います(30代男性)
- ・ 道の駅のような施設で直売所などを運営地産。池消できる環境づくり。企業から進出させてほしいと言ってもらえる町の宣伝(40代男性)
- ・ 北方町には道の駅がありません。「地産地消」・・・農林高校・地元農家の人々と協働して北方ブランド商品を開発し、道の駅で売る。またレストランを誘致してお客を呼ぶ。まずは働ける場所を作る。そして若い人々(世代)が、住みやすい町づくりをするため、女性の社会進出。子育てがしやすい環境をつくってほしいです(60代女性)
- ・ 高屋・柱本の新たな開発にともなう町づくりの構想が、雇用の創出、新たな農業のスタイル、それを含む農業振興と相互町づくりの振興が考えられていますが、今までの北方町の農業では、面積も経済的にすでに離れ過ぎています。私はこのエリアのイメージとして、天候に左右されずに生産コストが守られ、健康レストランに結び付けられ、雇用の促進に結び付けられる、「サラダコスモ」のような企業の誘致が一番良いと考えます。社協の健康農園も80才代の人々がやっているときは良かったのですが、この方たちは若いころから自給自足に慣れていて、体も丈夫でした。しかし30代の家族が日曜日だけ畑をついても、すぐに草に負けてやめてしまいます。60代の方は親の農業を見ているので、時間はあっても、ゴルフには行くけど、なかなか土を耕すところまでいかない現状です。この小さな北方町が今一番関心のある「健康志向」を逆手にとり、豆腐を作る技術、味噌の技術もあるうちに、このレストランを安心安全な食育と考え、子ども連れからお年寄りまで使用できるといいと思います。商工会も家業だけでなく、今、何に投資したら生き残れるか、発想を変えてほしいと思います。イメージにあるように、岐阜農林高校は大切な北方町の宝です。福祉についても若い力はとても頼もしいです。続いて福祉のことですが、今まで与える福祉ばかりでしたので、介護保険制度の変化と共に自立した高齢者等の努力も必要になってくるでしょう。しかし、長寿から認知症までいろいろな分野が連携しなければ立ち行かなくなるので、「在宅で暮らしを支える対策」を。大きなNPOをつくるのか、社協がまとめていくのがよいか、どこが中心になるのがよいかわかりませんが、福祉の担い手となる若者の養成や、ボランティアや補助となるシニアを研修させることが、助け合いの町になるための一歩と考えます。とても期待しています(60代女性)
- ・ 農業について 食の安全・安心が求められる時代であり、有機農業を進められたらどうでしょうか。個人的に、切に願います(30代男性)
- ・ これから農業は必要だと思う。農業の企業化など、作りたい人を外から集めて作ってもらうとかしていくのが良いと思う。地産地消でよいので、継続して行ってほしい(50代女性)
- ・ いちご農園すごく良いと思います。環境のこともあるので、企業も選んでいただいて、お互いに利益が出るというと思います。北方町のためによろしく願います(20代女性)

- ・ 田畑が多い北方町ならではの農業体験施設などがあると、遠方から遊びに来る人などに注目されると思います。それだけでは不十分だから、+αでキャンプができる、アウトドアができるなど関連して利用できると、北方町の魅力が発揮できると思います。岐阜市にも近く、田舎過ぎない住みやすい位置にある町なので、町外から転入したいと思える魅力的な町づくりをどんどん進めてほしいです(30代女性)

(憩い・健康づくりの場について)

- ・ 近くに高速道路も通るようになって公共施設も増えると、北方町に遊びにくるのではなく、住みたい人も増えると思う。特に最近では、岐阜も子どもを遊ばせるプールやアスレチックが減って、公園でもなかなか遊ばせられる時代ではないので、子どもはゲームで遊んだりしてしまいます。そんな中、町民プールやスケート場、アスレチックの小人から大人まで楽しめる所があるといいと思う(30代女性)
- ・ 町にもっと緑を増やしてほしい。遊べたり、楽しめたりする場所を作ってほしい(10代男性)
- ・ 都会のようにならないでほしい。田舎っぽい風景を残しつつ便利な生活を送る、住みやすい町だと思うので、大きな道ができると交通量も増え、空気が汚れると思うし、小さな子どもがいる親はとて心配だろう。町に工場が増えるのはいやだから、農業とか自然な産業で元気な町になってほしい。若者が仕事を求めて、町を出ていくのはやむを得ない気がする。久しぶりに帰ってきて「やっぱ北方はいいな」と思える町でいてほしい(50代女性)
- ・ ドッグランがあるとよいですね。本屋さんが増えてほしい。総合病院が北方町にもあるとよい(20代女性)
- ・ 車を利用すれば便利な所はあるが、町内に市民病院のような大きい病院がほしい。長良公園のような大きい遊具もあり、広い芝生もあり、散歩コースもあり、ボールで伸びのび遊べるような公園がほしい。駐車場も確保されている。清流公園は広い道路が近くて、安全面に欠ける。スーパー等の買物をする商業施設が高屋方面に片寄り過ぎている。もっと北側にも力を入れてほしい(30代女性)
- ・ これからの少子高齢化社会において、子どもから高齢者まで「心と体の健康」を維持する取り組みを大切にしてほしいと願っています。北方町南部地域で長年、子どもから高齢者まで多くの人の「健康」づくりに貢献し続けている「フラッグ7」や「本巣スイミング」の老朽化が気になります。スポーツジム、ダンス、ヨガスクール、サウナ、ジャグジー、水中歩行、エアロビクスなどの指導技術を持つ「フラッグ7」と、子どもの水泳(プール)指導で選手を育成している「本巣スイミング」の良さを生かし、屋内プール付の「健康施設」を町営でできるとよいです。利用料は、北方町民は安くなるなど優遇されるとよいです。また、中高年は若いころに「テニス」に親しんだ世代でもあるので、「テニスコート」は何面かあれば貸し出し、生涯スポーツの場になると思います(近くにテニスコートはありません)。ジョギングやマラソンプームでもあり、施設の周りには自然豊かなジョギング、散歩のコースがあるとよいと思います。保健センターの健康管理システムとつながるとよいです。北方町の中で若者の雇用を生み出すのは「工場誘致」ではなく、「健康」「福祉」「医療」の分野であれば高齢化社会に対応し、より住みやすい町づくりにつながると思います。大学進学を機にJRを利用して愛知県(名古屋市)などに通学し、そのまま愛知県に就職する人が周りに多いです。穂積駅のアクセスが悪いので、住居を移しています。通勤しやすい「岐阜市」「名古屋市(愛知県)」のベッドタウンとしての町づくりが進むと良いです。高校への通学もバスの便が不自由で、送迎される家庭も多いです。朝夕の通勤通学時間6・7時～8・9時台、17・18時～21・22時台、JR穂積駅行き1時間に2本に増発できないか。利用の多いバス停留所に雨をよける屋根が付けられないか。西鏡島のバス終着駅を延長して、北方バスターミナルまで延ばせばバスの本数が増えるが、朝夕だけでも増やせないか(50代女性)

- ・防災の面からか、北方町には公園がたくさんありますが、もう少し年関係なく楽しめる公園であるといいです。公園まで歩き、体力づくりになるものがあるとか(どこかで腹筋できる)、親子で昼ご飯を食べる場所があったりするといいなど。清流公園もどんな所が知りませんが、人(グループとか)が集えてひと休みできる公園にしてもらいたいです。小学生は元気にあいさつするのに、中学生になると声をかけても知らんぷりする子、そういう年頃なのだろうけれど、町の中で元気な声が飛び交う町になってほしいです。商店の人ももっと笑顔で対応してほしいです。昔、北方の町は気圧が高いと聞いたことがあります(70代以上女性)
- ・町営プールの廃止により町内には施設がなく、子どもを連れて行く場所がない。そこで新たな試みとして、巨大なスパリゾートの誘致(岐阜県にはこの手の施設はない)。これによって人が集まり、働く場所も増え、地域活性化につながる。北方町の新たな役場に金をかけずに、もっと地域の活性化につながることに資金を集中してほしい(50代男性)
- ・町民の健康維持・増進を図り、医療費の支出を抑制するために、トレーナーを雇用して健康作りの増進を図ったり、高齢者の健康増進のために、実地で軽スポーツのトレーニング会等の講習会を継続して開催したりしてほしい(60代男性)
- ・町営テニスコートを作ってほしいです。よその市町村のテニスコートだと料金が高かったり、予約が取れなかったりしますので、ぜひ作ってほしいです。テニスは子どもから老人まで安全にできるスポーツなので、多くの方に広めていきたいと思っています(50代男性)

(住宅都市について)

- ・今後のまちづくりとは・・・どこの市町も抱えている課題ではあるが、北方町においてはとにかく転入定住人口を増やす施策を継続するべき。増やすことにより税率を上げる。そして、元気な高齢者に多種多様なまちづくり分野に参加してもらい、協力をしてもらうことも大切(60代女性)
- ・ベッドタウンの機能を強くすれば、広い世代が定着できるようになります。転出者もいますが転入者も多いので、まずはなぜ転入してきたのかを聞いて、何らかの魅力的な理由があればそれを強化すると良いかもしれません。若い世代を定着させるには、子育て環境の充実と各種優遇、教育環境が整っていることが必須だと思います。企業誘致はどの市町村も進めており、少ないパイの奪い合いとなります。地域に根付いている企業や、地元の企業であれば将来も残る続けるかもしれませんが、自動車、繊維、電気の大工場は、主力生産は海外となり国内は撤退、大きな工場に依存していた市や町も衰退という現状を考えると、大手製造業の工場誘致は、将来にリスクを残すことになりかねません。国内消費がほとんどという製品を扱っている企業ならよいかもしれません。農林高校、農業技術センター、岐大農学部などと一緒に、他では真似できない北方町ブランドの農産品、作物を作るのもありかと思えます。時間はかかりますが、説明資料がわかりにくいので、企業経営層へのプレゼンではないので、一般の人がよくわかる内容にかみくだいてわかりやすくした資料が必要だと思います。北方町の課題というところは日本の課題なので、北方町特有のものは感じられませんでした。人口が1万人減っても、広い世代が充実して暮らせる町を目指すという考えもあるかもしれません(50代男性)
- ・県下で一番面積の狭い自治体の町だが、従来の企業誘致による発展には限度がある。幸い社会インフラが他に比べ充実しているので、ソフトを含めて一層の拡充を図り、他との差別化を図って、誰もが住みたい町づくりに的を絞った取り組みが必要と思う。総花的な国の地方創出に安易に乗る必要はなく、身の丈に合った施策を着実に進めてほしい(70代以上男性)

- ・ 北方ハイツのような大規模優良公営住宅の建設または誘致(50代男性)
- ・ 北方町は非常に生活しやすい町、スーパー・医療が多く困らない。土地等をもう少し安くして購入しやすくすると、人は住みつくとおもいます。区画整理を含め、購入しやすくなるといいです。他市町より値打ちであれば北方に居を構えると思ひます。福祉と教育のあり方でも人は寄ると思ひます。北方町は中途半端に住宅購入費が高いので、安い巢南や本巢の方へ行ってしまう。そこから北方へ買い物に来るので、北方で買えるようになるとよい(70代以上女性)
- ・ 限られた土地の中で企業を誘致し、雇用を増やすことはかなり難しいと考へます。産業力の低下は、単に町の産業力の問題ではなく、日本全体の経済の影響が大きいのではないのでしょうか。町民人口増加を考へる時、「暮らし良い町」「安心して住める町」を一番にしてほしいと思ひます。高齢者が牛耳る町ではなく、若者が元気に活躍できる町になってほしいです(50代女性)
- ・ 現状のベッドタウン化の維持・増加施策が必要と考へます。皆が住みやすい町づくりを希望します。産業の育成、企業誘致による雇用の場をつくることには、時間がかかります。必要とは思ひますが、あまりそこに力を入れ過ぎるのは問題があるのではと考へます(50代男性)
- ・ 夫婦共に岐阜市で働いており、大変魅力的な町だと思ひています。住宅においてマンションが少ないので、DINKS層でそれなりに収入がある層にはネックかも知れません。戸建ての推進だけではなく、マンション建設においても力を入れていただけると、我々のような層にも魅力的な町となり、定住者も増えると思ひます。また、北方町商店街にある空き家古民家などをリフォームして住人を増やすこともお考へいただくと、より活性化につながるのではないのでしょうか？ 大規模なショッピングモールもいいですが、魅力ある商店街は、イコール町の魅力になると思ひます(50代女性)

(空き家対策について)

- ・ 空き家の整備(崩壊している空き家をなくしてほしい)(50代女性)
- ・ 少子高齢化に関連して、空き家も町内に増えていると感じます。空き家の有効活用(例えば若者(若い世帯層)に安く貸すなど)の援助にも力を入れていただきたいと思ひます(50代女性)
- ・ 名鉄線路の跡地利用、町内の電柱の地下埋設を(ガス、上下水道工事のように)考へてください。空き家対策を積極的に行ってほしい。子どもは宝です(70代以上男性)
- ・ 少子高齢化及び核家族化による1戸住宅の空き家が、今後一層増加すると思ひます。防犯、防災の面からも行政による対策が必要な時期にきていると思ひます(70代以上男性)
- ・ 町内中心部の空き家対策。北方まつりが年々さびれてきている気がするので何らかの対策。北方の特産物が思い付かないことに問題を感じる。農業振興を行うなら、せつかく町内にある農林高校と連携できないか？(40代女性)
- ・ 観光資源として、また文化遺産保護の立場から、古い町並みの景観保全は急務である。外観をできるだけ変えず、耐震、防火機能を高めること。また、空き家を減らし、新住民を定着させるための何らかの施設を強く要望する(40代男性)

(新庁舎について)

- ・ 新町庁舎に期待しております。北方町として安心、安全な町を希望します(70代以上男性)
- ・ 役所の新築なんかに税金を注がないでほしい(40代女性)

- ・新庁舎竣工にともない、職員も気持ちを新たに、窓口業務等に携わってほしい(60代女性)
- ・新庁舎には、太陽光パネルは設置されるのでしょうか？ 脱原発平和都市宣言をしている北方町なので、再生可能エネルギーの活用に、積極的に取り組んでいただきたいと思っています(50代女性)
- ・旧庁舎の(利用)活用について積極的に進めていただきたい。北方の中心部ある建物活用の有無によって、旧町内の活性化が問われると思いますので、よろしく願いいたします(70歳以上男性)
- ・立派すぎる役場、誰のためのものなのでしょうか？ 建物を大きくすればそれだけ経費も大きくなりますよね。もっとソフト面の充実をお願いします(70代以上女性)

(雇用について)

- ・工場ができれば人口も増えるので、良いかと思います(50代女性)
- ・小、中、高一貫の学校があるように、大人も一生涯住み続けられる仕事と住む所を作ると、定住生活の人は増えるのではないのでしょうか。60歳定年はなくなる方向ですから、生きている間、働くことが希望となりますが、年齢に応じた仕事が必要と考えてもいいのでは。長野県は「PPK」でしたか・・・(ピンピンコロリン)。年金も少なくなる分、少しでも手にできる仕事があれば、助かる人も増えてくるでしょう(50代男性)
- ・北方町民が北方を中心として、若者の企業雇用ができる新しい企業誘致、または高校・大学を開設し、教育面の充実を図ること。高齢者に対しては、町負担により安く入所できるように、老人施設の充実を図ってほしいと思います(50代女性)
- ・町のいたる所で工事をしている印象。開発も進んでどんどん町が変化しているが、私は現時点ののどかでゆったりした雰囲気は失ってほしくないです。小さい町なので企業を誘致するよりも、個人の起業を支援していくというのはどうでしょうか？ 個性的な店や会社がたくさんあると、それだけで魅力的な町になると思います(40代女性)
- ・正社員として雇用が期待できる企業が少ない。アパート、マンションは多いが、交通機関が不便。車がなくては生活が不自由(40代女性)

(税金について)

- ・住民税が高い(60代女性)
- ・住民税を下げろ。そろそろ税金の低い岐阜市に引っ越しを考えている(30代男性)
- ・税金が高い。すべてが遅い(30代男性)
- ・ゴミ袋が高い。穂積市みたいにペットや缶を回収するBOXを設置してポイント制にしてほしい(30代女性)
- ・北方町に住んで10年以上になりますが、北方の魅力って何だろうと考えた時に、すぐには出てきません。岐阜市や大垣方面への交通も便利で、北方町にはスーパー、薬局、病院などたくさんあるので日々の生活に困ることもなく便利だと思いますが、若い世代の方々が北方町から離れていくのは・・・？ 他の市などの税金や健康保険の現状をよく理解していませんが、北方町は高いと聞きました。高齢者が多い分、それだけ納める税金も上がって負担がかかる、子育て支援があまりないなどが原因ではないですか？ 北方町にずっと住みたいと確実に実感できることを考えていかなければだめかも？ 私自身も北方町にはこだわっていません。何か引き寄せるものがないからです。北方町での雇用体制は力を入れてほしいと思います。雇用と子育てがしっかりしていて、住民の税の負担が減れば変わるのではないのでしょうか？(40代女性)

(防災・安全について)

- ・ 自然災害、また治安的にも、安全安心できる町であるように思います(40代男性)
- ・ 適度に緑や田んぼがあり、北方町はとても大好きです。しかし夜になると、街灯がもう少し増えなければ、学生や若者は歩きづらいと感じます。また、ゴミ袋の値段がもう少し安くなれば・・・(20代女性)
- ・ 防犯カメラの増設をお願いします(60代女性)
- ・ 防災対策。南海トラフ巨大地震が予想されているが、次の二点を提案します。1.耐震ブレーカーの各家庭への取り付けを、阪神淡路大震災を教訓として検討されたい。2.防災備蓄倉庫(町内公園4ヶ所)、備蓄品の定期点検・確認実施。新庁舎に関して、当然計画されていると思われるが、ソーラー発電システムの設置。建物の屋根傾斜面積が広く大きい。ソーラーとは別に発電機(自家製)の設置(70代以上男性)
- ・ 道路の工事が多い。医療費の全額負担を中学生いっぱいまでにしてほしい。田や畑の近くの街灯が少ないので、近くの家の人たちは、特に夜、子どもの通学などの不安があると思います。まだ必要のなさそうな道路工事よりも、街を明るくできるように街灯を増やしてほしいです。高屋の中道の優先道路を変更したのも、南北に走る車の交通量が多いのにどうしてだろうと思います。慣れるまで違和感があり、逆に危なくなっているような気がします(20代女性)

(広域連携・合併について)

- ・ 人口減少にともない、合併問題が今後再燃すると思われまので、関係市町との広域連携に取り組んでいただき、良好な関係を築いていただきたいです(30代男性)
- ・ 将来的には岐阜市への合併を望みます。早期成立を・・・(40代男性)
- ・ 高齢化、少子化対策と雇用とが連携した、ハード、ソフト両面からの街づくり構想。近隣の市町と連携し、重複施設のコントロール、役割分担等を行う。北方町の位置付け、役割は何か(60代男性)

(独自性について)

- ・ 新しいことへのチャレンジ(企業からの税収、太陽光発電、独自のブランド作成、魅力的な町づくり)(30代男性)
- ・ どの地域でもやっているような施策は、雇用も活性化も生まれません。北方ブランドを育てていく必要があるのでは。他地域から北方町に来てもらえるような、ここにしかないオンリーワンを考えてほしいですね(60代女性)
- ・ 北方町ならコレということ、ものをつくりたい。スポーツや文化、産物など何でもよいので、全国的なものを(40代男性)

(商店街について)

- ・ 北方町の商店街を活気ある町にしてほしい(60代男性)
- ・ 商店街がさびし過ぎる。まつりのときだけにぎわっている。町が何ヶ所か空き家を買取り、事業を新しく始めた人へ貸し出す。その後買い取ってもらうことも可能。町が買い取りしなくても、空き家を使用したい人と、空き家をなんとかしたい人の仲介をするのもいいと思う。シャッターが閉まっていると暗い感じなので、シャッターにアートしてあってもいいと思う。町内に道の駅があってもいいと思う(30代女性)

(その他)

- ・健康寿命が延びるよう、楽しく出かけられるところがあるとうれしいです(50代女性)
- ・少子高齢のことが前々から気にかかっていたのですが、安心の町となっていけるようにいつも祈っています(60代女性)
- ・年金生活で永住できるハイタウンにしてほしい(60代男性)
- ・私は北方町が好きですし、とってもしみやすい町だと思っています(30代女性)
- ・新たなまちづくり構想への意見で、お手伝いになるかどうかわかりませんが、申し訳ありません。北方町は小さな町です。小さな町でできることですね。北方町の運動会、人がすごく集まります。皆さん時間さえ合えば、集まるのが好きなのですよ。円鏡寺、蚕祭り、北方町のお祭り、いいこと楽しいこといっぱいあります。広く広告アピールの仕方が足りないのかと思います。北方町は大きな震災にもあいにくい土地です。でも忘れた頃に訪れると言いますから、住民が安心な防災に力を入れていただければ良いと思います。人口の減少は、電車の影響もあると思います。まだ新しいバスの時間、路線等の組み方が上手くいっていないか、皆さんに浸透していないと思います(50代女性)
- ・北方町に住むことになり、まだ七ヶ月あまりです。車が多いのにびっくりしました。うるさいくらいです。北方の町については、何もわかりませんでした。新しい役場ができるそうですね。大変楽しみです。迷ってばかりで本当に困りました。新しい計画もわかってうれしいです。たくさんの町名があるので、新しく来た人にもっとわかりやすく書いてあるものがほしかったです(60代女性)
- ・人口減少・少子高齢化は、どちらかというマイナスのイメージであるが、逆にプラスのイメージになるような施策も同時に考えていくことが必要であると思う。例えば、社会福祉の充実や文化の向上 etc.(60代男性)
- ・ゴミ袋の値段が高いと思います。20枚で1,000円は取り過ぎ。せめて50枚で1,000円じゃないですか？ 無料でシールを配布していた頃に比べたら負担になっています！ 子どもがいるとオムツとかバカにならない！ そういうところで子育て支援していると言われても、矛盾を感じます。子育て支援についても、何をどう支援されているのかわかりません。子ども手当以外に何かあるのですか？ 小学校はランドセルでよいと思う。農業が多いのはわかるが、時間問わず畑で焼やしているのを何とかしてほしい！ 煙がひどくて洗濯が干せない！ 迷惑すぎる！ 規制して下さい！ 若い人にはそういうのは嫌がられるのでは？ 若い人を集めたいならもう少し古い文化を改善した方が良くと思います(町内のことも古い人が固まり過ぎ、古い考え、ルールを押しつけ過ぎ)。同じ店、似たような店が近くに建ち過ぎ。Vドラックの近くにゲンキーとか、カーマの近くにバローとか… もっとないものや、違うものを建ててください。道路、優先がわかりにくい所が多々ある。年配の運転が危な過ぎる。一時停止など、もう少しわかりやすくしてほしい(カーマの北の信号のない交差点や、万代家具の北側のゆがんだ交差点など)。役場の新設に何億もの金をかける予算があるなら、町民税を少し安くするか、町民が利用しやすい店をつくるのかしてほしい!! 町内会費だって繰り越して余りまくっているなら、会費を少し安くするようにしてほしい！ 道路工事、ハッキリ言って迷惑です。いつまでもダラダラと… 固定資産税 5年間無料がなかったら、北方町には来てなかったです。転出する理由も、ここに留まる意味、魅力を感じないからでは？ 住み良く、活気あふれる町にはまだまだだと思っています。不満ばかりですみません(30代女性)
- ・町づくりをテーマに挙げているにもかかわらず、それにたずさわる職員の技術力が低過ぎる。コンクリートの養生期間さえ知りませんでした。それと、もっと住民本意で工事を進めてください。お願いごとでも無視されることが多いです(50代男性)

- ・町づくり、期待して楽しみにしています(70代以上男性)
- ・何度もこのアンケートを書いているのですが、同じことを書いても改善が見られない。私は難病で働き口を探しても「病気」だからと言って断られる。それって一種の差別じゃないのですか？ 病気の人は働いてはいけないのでしょうか？ 北方町のせいではないけれど、町全体が協力してくれれば、少しでもどうにかなるのではないのでしょうか？ 私はひとり親家庭で、一刻も早くこの状態から抜け出したいので、私たちを安心させてください。よろしくお願いします。こういう人たちに希望を与えるのも、このアンケートではないでしょうか？ このように思っているのは、私だけじゃないと思います(20代女性)
- ・北方町のみと言わず、日本国全体として、高齢者の働ける場所、前向きな話なら私も力を貸します。今すぐ結果が出ると思いません。これからの子どもへとつながる北方町として、動いてない力を使ってほしい。もっと北方町を良くして、日本国も良くしていきましょう(60代男性)
- ・今までの項目に書いてきましたが、私は瑞穂市(旧穂積町)で子育てし、生まれ育った北方町に戻ってきて、余計に北方町がより住みよい町になってほしいと熱望します。がやがや会議は苦情ばかりでさみしいです。本当に北方町の将来を考えてほしい住民がいるはず。今回北方町で生まれ育った町議会議員がいます。本当に北方町のために考えてほしい！ 企業誘致は反対です。このせまい北方町に必要ないし、外国人の流入はこれ以上必要なし!! 幅広い雇用を生かした産業を、北方町ならではのものを考えてほしい。天王川の堤防の散策、糸貫川の散策。円鏡寺・西順寺・北方町の商店街再開発(和光会の福祉施設、体育館、処理場あたりの活用、高屋の児童館)。農地も作ってない時期があります。米作りのみに頼らず、もっと北方町ならではの農産物(農林高校とのタイアップ)の取り組みを考えてほしいです。河渡地区の枝豆とブロッコリーとかを参考に考えていけば良い方法があるのでは。みそ作りの枝豆、みょうがぼちのそら豆とか。幅広い雇用の利用。リーダーシップ(有能な取引者)がいると聞いています。また北方町で生れ育った北方町の町議会議員さんには期待します!! 北方町に住んでいることを誇りに思っています。生まれ育った北方町の発展を望みます。私の子どもころは、本巢で一番いいまちだと思っていました。北方町の子どもの学力低下がちょっと気になります(60代女性)
- ・少子化のペースが全国平均よりゆるいことは、資料があるはず。高齢化への対策、低所得者層に対するの対策を見直し、不必要な出費、補助を減らすべきでは。なお、低所得への対応は、給付のムダを省き、本来給付不要なものに払われているものを削るべき。そこに至る調査、監査に費用を使ってはどうか。2.農業は県も別のプランで動いているはず。農業委員会が本来の正しい決定ができるよう勧告するべきでは？ 兼業農家への所得保償や、クレームに対して出ている出費から考えると、特にアグリ新産業に対し、先の見通しがしっかりしないまま、期間に迫われて食物にされるのではと思う。農家たちと方向性をしっかり決め、企業に対してPR。会議費や調査費はそんなにいらぬ。農家たちにやらせる。上がった予算請求は厳しく確認する。各自好きに畑で作っている野菜など農産物を、地域の外食産業と結び付けることは大変良いと思うが、運営などに行政がかかわることは農家の自立性を損ない、事故の原因になるので避けるべきと思う。北方町の立地と、周辺市町村の強み、弱み、施設や集客力(温泉、ダム、商業施設、神社仏閣など)をよく考え、ムダに競合しないもの、ことを考えてほしい。3.教育施設の運用がまったく下手だと思う。大学などに協力を仰ぎ、今あるコンサートホール、体育館、ふれあいセンター、図書館をちゃんと活用させるべきだと思う。この部分を行政側がまったく理解していないのではないか。結果として、町全体の教育レベルが大変低い気がします。子の教育は、まず親から。親のその上の代から見ていると、きちんと教育がなされていないと感じるくらいの民度の低さを感じます。今あるハコモノを、もっと活用するべきだと思う(30代男性)

- ・ 広報の放送が聞こえないため、一度調べてください(50 代女性)
- ・ 高屋地区を発展させていくことに異論はありませんが、その一方、森町など昔からの地付きの方が住むエリアが若者から嫌われ、取り残されていくのでは・・・と不安です。森町でも空き屋が増え、売家にしてもなかなか買い手がないところも見られます。神社の行事の代行など、できたら町でも考えて NPO など有志の方を(この町以外でもよいので)頼って、すべて自治会会員にさせなくて済むようにもっていければ・・・と願います。若いママたちから、昔からのエリアは自治会や老人会が面倒くさく、煙たがられている・・・と人づてに耳にしたので、こういった面も町政で御一考願いたいです(50 代女性)
- ・ BBQ 大会(柱本運動会後の)、チューハイとかもっと安くしてほしい！(30 代女性)
- ・ コンサル等に頼ることなく、町民が自主的に問題に直面し、自らの判断で方向性を決めていくことが、事業(構想)を実現させるポイントと考えます(60 代女性)
- ・ 北方町独自のベッドタウンとして、地域での人、町作りを基本とした人間関係を大切に公平な立物し、人として生きていけることを考えて、誰もが納得できる地域近所であってほしい。墓地、空き屋の管理、道路での工事費の平等、商店ある一部への企業への片入れなど、税金への納税の納得、不平等をなくして明るい町にしてほしいです。この調査でも業者に依頼のお金を支払わず、職員ができることと思われる。市の職員のレベルアップも考え、もっともっと力量のある職員であってほしいし、教育も必要。一般企業をみて努力すべきと思います(70 代以上女性)
- ・ 天王川の河川、掃除をお願いします(70 代以上男性)
- ・ 少ない人に小さい町であるからこそ住みやすい町に特化すべきであり、公共投資は控えめにし、減税に努めるべき(70 代以上男性)
- ・ 各エリアを軸にしたまちづくり構想は発展のためには良いと思いますが、他地方及び現地元民の流出・抑制が高い確率で見込めない中途半端なものであるならば、やらない方がましかと思います。今、描いているビジョンを明確にし、ターゲットとなる期間までに、果たして本当に可能なのでしょうか？(施工業者のキャパやコスト面、納期面でも、他地区も同時に進んでいいたら間違いなく計画通りにはいかないと思いますので、余裕を持って、またしっかりと煮詰めてからスタートさせてください。「騒音問題」には特に気をつけてください)。今何もやらなくて 10 年後に新たな問題が出てきて、まちづくりや投資を行うか、今回の計画を行って(計画通り遂行すること前提)、完成後の 10 年後の発展 or 劣化を見据えた実行をするか、よく考えてから取り組んでください。多額の投資、まちづくりをしたものは失敗してもそう簡単に変革できません。中途半端なものでは今より財政、維持に苦しむのは目に見えています。ぜひ、他にはない「まちづくり計画」を行っていただき、「北方」を確かな町へと発展願います(20 代男性)
- ・ ごめんなさい。文章が読みづらく書けませんでした(70 代以上男性)
- ・ 東加茂に住んでいますが、20 歳以上の若者の他県への就職、流出が顕著になっていると思われます。20 歳以上の若者を流出させないような取り組みが必要であると思います(50 代男性)
- ・ 若者にとって、交流は必ずしも必要なものではない。それぞれのライフスタイルに任せ、交流を強制してはよくない(20 代男性)
- ・ 各設問の答えの選択、判別がわかりづらい。実際、北方町民で専業農家として暮らしてみえる方が、どれくらいいるのか。商店街も同じく実情がわからなくて、理想論みたいな考えで今後うまくいくか疑問である。財政面で、新庁舎も建つことで儉約することも考えていただきたい。無駄がないか、行政にかかわる方々、勉強してください(50 代女性)

- ・ 町中が非常にさびしい状態です。若者たちでもう少し活気のある活動ができると良いと思います(商工会・役場の職員等) (70 代以上男性)
- ・ 郡の廃止!!(北方町はとても便利で住みやすい街なのに、田舎のイメージが先行してしまう。「郡」を外せば、イメージが上がるのではないか?) 難しいとは思いますが・・・(40 代女性)
- ・ 今回アンケートの主旨がわかりづらく、漠然とし過ぎて回答に困るような内容でした。この集計結果で町民の意見が果たして反映できるものか疑問です。今のフットワークの軽さは、岐阜市や合併した本巣市・瑞穂市にはできないことがあると考えます。それを生かしてできること。智恵を絞って特性を生かしアピールしていくことが行政へ望むことです(50 代女性)
- ・ 高齢者は 60 歳代、70 歳代でもまだまだ働けます。ボランティアばかりではなく行政の下請など、例えば北方町に点々とある小さな公園、学校の運動場を解放してその管理など、また長良(大学の跡地)のような大きな公園が一つと駐車場があれば人は集まると思う。あとは企業誘致、これ次第で若者が住んでくれるように北方町をつくり上げるべきです(70 代以上男性)
- ・ 北方町の住人となって約 34 年になりました。北方町は私たち夫婦にとって住みやすい町だと思っております。町の面積は小さいですが、地理的条件はとても良い位置関係にあると感じています。岐阜市にも近いところで、車で用事を済ますことができます。北部・西部方面にも山・川・町が多くて、生活には幸一に存在しています。私たちの町(北方町)が将来に向かって元気な町づくりを、行政と住民が意見交換できる場を設けていただいて、産業・農業・住民の住まい、健康づくり等、未来のある町づくりを期待しています(60 代男性)
- ・ 私は身体が不自由です。過日風邪かわかりませんが、熱があつて足腰が弱くなっていたと思います。トイレに車いすで行った時、転んでしまった。妻を呼んで起こしてもらおうと思ってやってもらったが、びくともしなかったのです。それで隣の家の会長さんを呼んできて事が済みました。隣近所の人が大切だあとつくづく思った次第です。家には緊急の電話がありますが、押すと誰が出るのか、すぐ来てもらえるのか?(60 代男性)
- ・ このアンケートについて、行政は「アンケートをとった」ということだけが大切で、どのように町民が思っているかは問題にしていない(アンケートをとったという事実だけを目的としているとしか思えない)。町民の声はまるで反映されていない。むだなことに税金を使っている役場に信頼が持てない。アンケートの結果を町民全部に知らせることが重要で、それによってどのように行政を進めたかが問題だと思う(40 代女性)
- ・ 道路の整備をあちらこちらでやっているようですが、どれもどん詰まりで大道路に直結されてないため、とても走りにくいので、もっと考えた方がよいと思う。子育て関係にて、保育園の土曜保育を夕方 17 時までにしてほしい。動きにくい。税金無駄使い→生保、母子家庭の見直し調査をもっと徹底した方がよいのでは。本当に大変な思いをしている人がちゃんと受けられていないように思う(50 代男性)
- ・ 私には子どもがいますが、いずれこの町を出て行ってしまおうと思います。「この家はいらなくなるわね、売っちゃおうか?」と言うと、いや売らないでほしい、この家がなくなると北方町に戻れなくなるかも、ここがふるさとだからと言います。子どもたちが戻れる町、安心して暮らせる町になってほしいです。難しい問題だと思いますが。がんばってください(50 代女性)
- ・ 若い人たちの一層の定住と子育てを応援する政策として、税による補充、育児、住みやすい環境を整える(70 代以上男性)
- ・ 今後、人口増が必要と考え、定住者をいかに増やすか積極的に考え、取り組んでほしい(70 代以上男性)

- ・本町は道路網の整備が着々と進められており、企業の誘致を行い若者の流出を防ぐ。若者が北方町を離れて、残っているのは老夫婦であり、買い物に行くのも大変である。過疎地域ではないが、町内巡回バスも日に3~4回走らせてはどうか(幼稚園バス等の利用)(70代以上男性)
- ・スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンターなど、せまい地域の中で同じような店ばかりある。町外の人から見て、魅力のある町ではない。住みたい街、行ってみたい街、どちらも当てはまらない気がする。総合医療が受けられるような施設・専門的な医療が受けられる施設など、町内外からも求められる場所があると思う。精神科などメンタル面をもっと重要視して、目先のことだけでなく、心の豊かさも感じられる町が、魅力がある町と言えると思う。TSUTAYAが展開している図書館をテレビで見たことがあるが、とても魅力的だった。こんな施設ができてくれたら本当にうれしい。スタバもできたらうれしい。職業上の理由での転出、とあるが、それが本当の理由の人は何割いるだろうか。岐阜市の方での仕事で、河渡橋を通勤のために毎日通っていたが、毎朝の渋滞は本当にストレスだった。でも、だからと言って、転居までは考えなかった。子どもを育てるにはいい環境だと思っていたので。嫁いで来たのがきっかけで北方町に来たが、住みたい町として選んだ可能性は、あの時点ではなかったと思う。20年以上住んで今、北方町が大好きになったが、転出される方が多いという現実を見ると、これからの世代の方が住みたい町として北方町に転入し、定着してもらうには、物や仕事や産業とか景気のいい話ばかりでなく、弱者にやさしい町になってもらいたいと思う(40代女性)
- ・医療機関、大型スーパーが比較的近くにあり、住みやすいまちだと思います。土地利用構造、企業誘致も必要ですが、まず先に各地方から、若者に限らず、定年後でも住みたくなるようなまちづくり。安心安全な利便性に富んだ場所へと、住宅地作りも必要だと考えます。新庁舎内に(呼び込み課)を作り、農・高・工・人を呼び込むための人材教育が必要だと思います。各町内の受け入れ態勢と、まち全体が盛り上がるような雰囲気づくりが大切だと思います(70代以上男性)
- ・現在、住宅があり、他町にパートに出ています。シルバー人材(70代後)加入の方々がいくつか仕事を持ち、仕事スイッチで元気をもらってみえます(皆さん薬飲んでみえます)。教科書にない勉強をさせてもらっています。仕事スイッチは元気の素です。バスターミナルに感謝しています。住宅地が多くなり、雨震災が気になります(60代女性)
- ・私の中学時代の友達も町外に転居したり、仕事の都合で1人暮らしをスタートしたりと、町外から出ていった子が多くいます。やはり、仕事が少ないというのは、この町に住み続けることが難しい原因の1つではないかとは思っています。私は町外で仕事をしていますが、今現在は実家で暮らしています。その理由として未婚であることが大きいですが、北方が便利な場所にあるのは(車があれば)挙げられます。車があれば移動しやすいですが、バスの本数は少ないし、仕事や学校に行くのは時間的に大変な人も多いと思います。すると家から出ていくことも考えられるのではないかと。交通の便をより良くするのは大事であると考えます。“地域再生”のドラマで、農家レストランとか農作物加工所とかいろいろ成功した例を最近よく耳にしました。興味深かったですが流行りはあるし、難しいなと思います。特に柱本・高屋はカネスエやピアゴ等安いスーパーや、すでに人気のあるカフェ等がたくさんある地区なので、新たに店を開くのは難しいのでは。まずそこにかかる人件費はどうするのか。例えば、門前市のような手作り市のようなものをもっと土・日の開催にして、北方の魅力あるものをたくさん売るイベントをやったらどうか。そういうので試しに売ってみてから考えても遅くないかと。また「暮らしやすさ」をもっと高めていく。教育、福祉の充実は北方に住みやすい、住みたいと思う理由につながればいいと思います(20代女性)

- ・私事で申し訳ないのですが・・・高屋条里で 60 に越して来て、2年半ほどになります。自宅前、用水路があり、細い道(一部)にもかかわらず一方通行でないため、自宅から車を出すのに苦慮しております。用水路にフタを願うのですが、無理ならせめて一方通行にさせていただきたく切に望みます(60 代女性)
- ・大きな樹を切ったり、川をコンクリートでいじったり、自然に対する冷たさが嫌になっています。昔からの自然をもっと大切にしてください！遅いですが!! 現在の北方町はつまらない、どこにでもある中途半端な地方の町じゃないですか!! 道路広げて見かけきれいなのは、どこでもありますよ！ だったらもっと都会へ行きます！あたり前でしょう！ここにしかないものを大事にしないで、どうするのですか？(50 代女性)
- ・そもそも北方町の人口がないので新しい施設等つくる必要はない。北方町は税金が高い中、公共施設等のメンテナンスだけでも維持が大変、管理費もともなう。農業や産物についても理想であり、人口やキャパシティは、小さ過ぎる。市や県が理想を示しても、ター市がよかれと思っても、生き残りは大変なものとなり、税金もむだ遣いとなり、市の大きな損失を招く。もはや農業は地主の責任で生き残ることを考え、地主任せにすればよい。世界に誇る農作物と考える人がこの町に少数いて、実現する実行力のある人に任せ、市内の土地をその方に任せ、生かしていただくことがよいでしょう。それぞれが小さな町で一生懸命考えて実施しても、隣の市や県に行けば同じものが手に入り、安く売っているところに求めているのが現状となる。次の世代に継承していくことは、よほどでない限り、急速な変化にともない大変なことになり、大きな税金のむだ遣いとなる。有力な大きな企業による新しい農業経営の参入がいいかと思われる。市内の市民が持っている農業に関する特許を生かすことは強いと思われる。のちに海外にも生かせ、輸出もできる。それくらいのことをしないと、隣町(市)とのどんぐりの背比べでは生き残れない。人口が 10 万以上とか農業人口が大半を占める場合は生き残れるでしょうか。小さな田を相手に基盤整備する、広げても大変。このアンケートまでにたくさんの方が会合に参加されたと思いますが、特別突出したアイデアがありません。そう思いました。人間にとって大切な栄養素(たん白源)である昆虫食(イナゴ、バッタ等)、食料難がやってくる。この日本の自給率の低さ(40%)を考えると、昆虫食の研究をすること(休耕作地を利用)等にすることが急務と考えます。この町には日本を揺るがした(農業と食べることに関する)人がいます。もっと幅広く意見を求めてほしい。人材を生かすようお願いします(60 代女性)
- ・国では子育てに対する取り組みが声高に言われていますが、高齢者が増加するにあたり、高齢者にやさしく住みやすい町づくりに力を入れるべきではないでしょうか(50 代男性)
- ・20 年以上北方町に住んでいますが、今年のプレミアム商品券の販売時に、北方町には買い物できる魅力的なお店がないことをすごく感じました。隣接市町には多くの商店があるのに北方町には何もないと実感!! 改めて考えてみると、いつも買い物(食料品、電化製品、衣料品など)しているのは町外です。できれば町内で買い物もしたいです。企業があれば町内で働くこともできます。交通の便がもっと良かったらと思います。ほかの市町のようにコミュニティーバスを走らせることはできませんか？(50 代女性)
- ・町作り構想、これはもっと大胆に考え付いたら即実施する。頭の堅い人ではだめ、子ども、学生の意見も必要かと思う。こんな発想もあるのかと思うようなことを取り入れること(70 代以上男性)
- ・特徴ある公園、施設を作り、子どもを育てる家庭に興味を持たれる町になってほしい。もしくは、元気な老人が主体になって店舗を運営していくのも盛り上がると思う(40 代女性)
- ・少子化の問題で北方町も小中学生医療費無料化をされておられますが、必要性のない医療費の増大になりかねないような気がします。本当に必要な家庭、本当に必要な難病重病に限定し、かつ後日の還付方法をとるべきだと考えています(50 代男性)

- ・ 少子高齢化の原因の1つに、北方町の男の人(30代~50代)で、結婚していない人が多いことがあるように思います。集団お見合いなど、何か良い考えや対策が必要ではと思います(70代以上女性)
- ・ 活力ある町づくりを目指して次世代に引き継いでいくためにも、若者から高齢者までを含めて有識者会議、あるいは町内住民有識者交流会等を開催し、意見交換等を行ってみたいかがか(70代以上男性)
- ・ 面積の少ない北方町は大規模な工場誘致は望めないし、商業施設も今さらであることから、工業、商業、農業と幅広く魅力を出して人口の流出を防ぎ、増加を図ることだ。「24時間操業の野菜」を目指す。農林高と組むことは賛成。商業も工業も従来の店舗イメージではなく「こだわりある店、工場」「話題を発信する店、工場」に力を入れて誘致し、バックアップする。つまり町全体が常に話題性魅力を発信していく。名古屋、岐阜の通勤圏であっても北方に住みたい。北方町から通う魅力をつくっていかなければならない。都会化、大規模化を目指すのではなく、静かで住み良い安らぐ町の住環境の推進。名古屋に職場があろうと北方町に住みたい住環境が大切で、教育の充実にしてもより専門課程を迫及する学校、力を入れるスポーツを明確にして将来の大物を育成していくような学校や施設の誘致など、つまりドカーンと大きなことをやるのではなく、小さい町なりの緻密な計画、幅広い視野でとらえていくことが必要。北方町の将来に結び付くことをコツコツ推進していくことが、町の発展につながっていくことと思う(70代以上男性)
- ・ つい最近のことです。農地の耕地整理が終わりすばらしい農地によみがえったと思ったら、すぐに宅地になり、大切な農地が失われてしまいました(宅地化するのにわざわざ農地整理されたことも疑問です)。農地を宅地化してしまった今になってから「農業の振興」「農業の効率化」だと言って、北方町に残った農地に税金を使って集約しても、小規模個人農家は農地として今後とも継続使用されるか保障はありません。それに、農地の振興と効率化にはある程度の規模が必要であり、農地集約後の運営期待も何ら示されていないことから、効果が出るとは思われません。財政基盤の弱い北方町がこのような計画に税金を投入するのは賛成できません。私は個人による小規模営農の時代は終わったと考えています。農地の集約化による農業の振興・効率化は必要ですが、地方創生とは切り離して考えるべきです。農業の問題は、TPP対策も含め、例えば農協など会社組織により解決すべきであり、国・行政はそれにとまなう法整備を担うべきです。街中に多くの空き地、空き家がみられますが、農地を潰して住宅化するくらいならば、街中の空き地、空き家を整理して、若者用の新しい住宅を建てるような施設が必要と考えます。これにより高齢者と若者が住む活気のある町ができ、今にも壊れそうな危険な建物を一掃できると考えます。雇用の創出のための企業誘致は北方町単独で行っても効果はないと考えます。旧本巣郡全体で取り組むべきテーマです。隣町に工場が誘致された場合でも北方町民が勤めることは可能なことから、少ない農地をつぶしてまで企業誘致する必要はないと考えます。街中を歩いていると下水の異臭がします。下水道が整備されたのに下水の異臭がすることに疑問を感じています。下水の匂いがするようでは、新たなまちづくりを実施してもはずかしいのではないのでしょうか。この機会に下水への切り替え完全実施を早急に実施願います。下水道料金は上水道料金の2倍と高く、未切り替え世帯と比較しますと不公平感が拭えません。環境改善のためと思い下水道切り替えに協力しましたが、私たちの協力がむだになっており、腹立たしいです。町内全戸が下水に切り替え完了すれば、下水料金は安くなると思います(60代男性)
- ・ 働き、ストレス解消ができ、生活しやすい街づくりをしていただきたいです。新しい町になることにより、体育館の管理が総合体育館に移ります。そうすることにより、月曜日の利用などできなくなります。体を動かすことは今の時代、とても大切ななかなかできないことです。もっと体育館などが使いやすい環境にしてもらいたいです。使用料なども入ってくるのですから(30代女性)

- ・子どもの医療費を高校まで無料にしてほしい。中学生の自転車通学。道路の整備はいろいろ進んでいて良いとは思いますが、歩く距離にしては遠過ぎると思います。街灯を増やしてください。不審者も多い中、帰宅時心配です。バス。停留所、バスの本数など、いまいよくわからないので(たぶん少ないと思います)、利用しやすくなると老後に助かります。大学や専門学校も少ないので、交通が便利な方が良いです(30代女性)
- ・瑞穂市は高校生も医療費が無料、本巢市は第3子の給食費免除など、北方から数キロ離れるだけで子育てするにあたりかなり魅力的で、若い世代は北方ではなく、瑞穂市や本巢市を選ぶと思う。北方もやっと中学生までは無料になりありがたいが、他の市町村と比べてしまうと残念に思うことも多い。広報(こちらは広報北方です)の次の話があちこち重なってまったく聞こえない。大事な話も聞き取れないことが多く、大変困っています。本巢市のように一軒一軒機械?が付いているとすごく便利だと思います。大きな問題(少子高齢化)を考えることはわかりますが、まずは身近な問題から解決してほしい。高齢者を思いやるなら、それこそ広報が一軒一軒伝わるのが大切なのではと思います(40代女性)
- ・若者と高齢者が触れ合う機会を積極的に作っていき、双方に他人事ではないと実感させることが初めの一歩なのではないかと感じる。どちらかが一方的に世話をしたり、互いにわかり合えないと思っけては、少子高齢化の波に飲まれていくばかりだと予想する。年齢が離れていても友情のようなものは生まれる可能性がある。友であれば、意見が合わないことがあっても、声を聞くことくらいはできるようになるのではないかな。行政が住民の声を取り入れる前に、住民同士の仲間意識がなければ、本当の意味での住民の声は出てこないのではないかなと思う。非常に難しいし時間のかかることかも知れないが、街づくりの一環として取り組むべき課題であると思う。強制ではなく、楽しく若者と高齢者が触れ合える場所(しくみ)づくり(30代男性)
- ・夫婦二人とも国民年金の収入だけではとても生活していくことはできないのが現状です。片方が病気でもなれば、どうしたらいいかわかりません。今はあまり考えないように日々健康に気を付けて生活しておりますが、今後のことを思うと不安がいっぱいです。また、低所得者でも入所できる施設ができますと、末が安心です(60代女性)
- ・「開発検討ゾーン・土地利用検討ゾーン」について、地主さんは計画ありきで近所の住民に話をしているが、どの程度話が進んでいることになるのかわからなかった。資料には今年の3月に策定を目指しているというが、地権者の合意形成だけで策定できるものなのだろうか。周辺住民に頑固な反対者がいたらどうするつもりだったのだろうか。性急かつ安直過ぎやしないか。企業誘致については県の企業誘致課に相談されているのだろうか。単に広大な空き地を造れば企業は来るとでも思ってやしないか。電気の高圧配線、高速通信網、上下水道、強固な地盤、アプローチ道路、周辺住民との折り合い…企業誘致課と考えなければいけないことはかなりある。大野町は町西部の工業団地造成を計画していたが、湿田だったので立ち消えになっている。あと地主さんが「缶詰工場が来る」と言っていたが、企業にとってはそんな情報の漏洩は今後の業績を左右する大きな問題になる。そんなつまらないことで企業が意思を撤回したら元も子もない。そこから意識を変えないといけな。羽島市の例。羽島インター周辺の土地区画整理でたくさんの土地が出たはずが、個々の企業との交渉を各地権者に投げたため、企業進出の話がことごとく頓挫している。昨今はコストコの進出など急に慌ただしくなっていたが、それまではどうなっていたのだろう。「ゲートウェイ型」広域交流拠点による「シティプロモーション」「インバウンド観光」とは具体的にどういう意味だ。国土交通省の受け売りの訳のわからない表現で地権者を煙に巻いて策定をお考えか。地域観光の窓口となるのなら、県の観光企画課とかに相談した方がいい(40代男性)

- ・ 住みやすい町北方町 まあまあ満足しています。人を育てる町(思いやり、心を育てる町づくり)。おいしい物が食べられる町作り(自然と人が集まります)。高い教育(大学、高校(有名校)への進学できる町づくり)。私学等の活用(30代男性)
- ・ 近所のことで気になっていることですが、中高生の独居男性が比較的多いように思います。男性の場合仕事中心で定年後はなかなか社会に参加しにくいことがありがちだと思います。男性とは限りませんが、独居の場合、飲酒で体調を壊したり、喫煙による火災のリスクも心配です。地域で互いを見守るネットワークができればと思います(70代以上女性)
- ・ 私は北方町で生まれてずっと北方町に住んでいます。だから故郷北方町が好きです。北方町は小さいけれど合併の危機にもめげず残りました。今回のアンケートに選んでいただいて、いろいろな課題があり、未来に向かって再生しようとする姿勢がうかがえてよかったです。これから先、子どもや孫が住むであろう町なので、住みやすい町にしてほしい。町として生き残るためには方向を決めてほしい。教育、医療、福祉、税負担・・・行事の内容のマンネリ化、商店街の再生、観光・・・問題は数多いですが、よろしく願います(60代女性)
- ・ 今回「地域再生計画」による新しい町づくりのためのアンケートですが、基本構想(計画)の見直しを考えているのですか？ 土地改良済の農地の利用方法は農業委員会、地権者等の意見を十分聞かれていますか？ 本来北方町は名古屋市及び近隣の市町のベッドタウンとしての位置付けをし、県営団地誘致と合せた区画整理による住宅開発が半世紀にわたって行われた結果、都市基盤が他の市町と比較しても良く、県下一番と自負すると共に、地権者の協力行政に感謝しています。現在、町行政は定住者人口増を考え、新築家屋、土地の税金を5ヶ年還付されていますが、税の還付は地財法に違反していると思います。また、地権は相続対策等のためや生活設計のために借家アパートを建てられ、一時は満室ですが、3～4年後は「空」が増えている現状です。これは生活環境、交通便の良さに惚れ、転入された人たちが多くと考えられます。でも人口動態を見ると転入者より転出者が多いことに気付き、その原因が何にあるか町長は考えられたことがありますか。数年前のある人の話ですが、新築を考えた時、子どもが病弱なため、医療費を無料化している町でとの結果になり、隣町に新築、転出されました。人はそれぞれの生活の悩みを持ち、少しでも行政の手伝いを望んでいます。先日、テレビ新聞を見ていて、どこの行政の首長様も悩み、試行錯誤されている姿に感激しました。鯖江市のテスト居住体験が紹介されていました。また山口市も名古屋市のベッドタウンを目指し、名古屋市に事務所を設置され、移住促進に力を注がれている新聞を見ました。前段にも書きましたが、我が町の位置はベッドタウンと思います。交通の便も良く、地震は心配ですが他の災害を考えなくて良い土地柄です。山口市、鯖江市のように移住を促す努力や、町内に住む持ち家を持たない思いを聞いたりして、実態を精査して、その中から移住者が何を町に望んでいるか(持ち家を持たない人も)、その解決方法、順序等を考えてください。アンケートの質問で理解できない事柄①2 ページの間 2 の(2)「まち、ひと、しごと」を～「北方町人口ビジョン」を策定しました。(できていますか)②問 3(1)「近年は職業上の理由～転出される方が増え」(一般論でなく、岐阜市及近隣市町へ転出者の本音を聞いてください)(70代以上男性)
- ・ 既存の商店街と大型商業施設の共存、発展。救急病院の誘致。若い世代を対象とした、住宅団地の計画(魅力のある街づくり)。子育て世帯を支援するため、町営または民間による託児施設の拡充。防犯・防災における関係機関、企業、学校等との連携体制拡充(非常時に機能する体制)。観光の目玉(集客能力のある)がほしい(40代男性)

- ・揖斐郡池田町では、福祉一貫教育を進め、子どもからお年寄りに至るまで福祉に関心を持ってもらうための取り組みをしていると聞きました。今回、農業6次産業化・農林高校との協働による北方ブランド作りなどを進めるにあたり、幼年期の子どもたちから始める農業体験(含む、6次産業を学ぶ)や、団塊世代の活躍の場への誘導など、町民全体への促しにより、町民みんなでかかわっていけると良いと思います(40代男性)
- ・ハードの整備はもう十分です。子育てがしやすく、子どもがのびのび育ち、お年寄りも住み慣れた地域で暮らし続けられるようなソフト面でのまちづくりの充実を求めます。町に住みながらも、近隣市へ働きに出られます。あえて北方町に住み続け、「子育てしやすい!」「住みやすい」と思わせる魅力に欠けていると感じます(30代女性)
- ・北方町は転入・転出が多く、子育て中の親としては、定住するにはどうなのかな・・・と思います。施設がいろいろできて、なるべく町民はお金がかからないように使用できるようにしてほしいです。また、岐阜市、名古屋に出るにも、なかなか不便な気がします(30代女性)
- ・申し訳ございませんが、75才の私にはこの書類のかかっている事が十分に理解できかねます。無責任な〇も付けられませんので、アウトさせていただきたいと思います。一つ思いますのは、何をおやりになるにしてもお金がかかります。それが税金という型で収入元となさるのなら、町民の負担にならぬようにお考えください。若い人も老人も自分のことは自分でやっていければ、それが一番いいことと思います。将来の子どもたちに覆いかぶせない計画を(すべての面において)立ててください。思っていることを書きましたがお許しください。と共にご理解ください(70代以上女性)
- ・住民がお互いに助け合える町作り。町全体が顔見知りになれる。防犯意識の高い町作り(50代女性)
- ・ボランティア人口を増やし、町の活気と元気を維持する。町内の施設に必要とするボランティアを登録してもらい、(すでに実践しているが範囲を広げる、民間企業も参入してもらえるとさらに広がりますが・・・)。ボランティアはポイント制にし、ボランティアするごとにポイントが加算され、ポイント数によってきりりホールで行われるコンサートなど推し物の入場料が減額されたり、インフルエンザなどの予防接種が減額されたり、ポイントが高い人は商品券と交換とか・・・やや有償ボランティアっぽくしてお得感を出す(60代女性)
- ・総合病院の誘致(病床設備、救命設備を備える)をお願いします(70代以上女性)
- ・総合老人福祉施設の建設。農業とも関連させ、町民(老人も)働ける場所。北方町民が格安で利用できる温泉施設+ジム+介護施設+働くために学べる場所+ボランティア促進。火葬場+葬儀ホール(神戸町安らぎ苑のように安く)。(1郡1町を続けていくなら)町外の施設に頼るべきではない。だいたいこういうアンケート自体、北方町内の企業を育成するため町内でやらせるべき!! 町外にやらせたって、金取るだけで責任取らない業者ばかり。うんざりだ!(50代男性)
- ・住民の生活しやすい町づくりを最優先すべきで、就業地は別の自治体であっても住居は北方町にしたいという魅力を備えること。それには交通の便を改善しなければだめかなと思う。柿畑でも人材不足なのか、せっかく実った果実が朽ちるに任せられているのを見るが、いかにももったいない気がする。安く買い上げて、加工品として北方特産として販売できないものか。テーマは異なるが、あいさつ運動も中途半端で尻切れトンボになっているが、今後の対策はいかがか(60代男性)
- ・若い世代の方に定住してもらえよう、北方町として努力してほしいです。私の年代では高齢化に向かって、年寄りにでもできることは協力したいと思っています。とにかく若い人の考えを聞いていただき、北方町のためになるよう、がんばっていただきたいです(60代女性)

- ・ 少子高齢化となって行く今後、これから生まれてくる、また、これから大きくなる子どもたちが暮らしやすい街をつくってほしい(50代女性)
- ・ 住みやすい街とはどんな街でしょう？ 足回りの便が良い、買い物にも便利、公園や学校が近いこと、このような条件が揃っていることが住みやすい条件です。しかし求める条件が揃っていれば満足し、住み続けるのでしょうか？ 快適さ、便利さだけなら、より良い、新しい所に移り住めばよいです。ずっと住み続ける街は、居心地の良い人間関係が条件と思います。必ずしも便利至極でなくても、人間関係にこそ安心がある。人間関係は誰かが働きかけなければ生まれません。街の住人、賃貸物件のオーナー、不動産会社、企業、行政がイベントを開催し、知らない人たちが知り合いになれるような交流を促進して、人間関係が生まれ、住みやすい環境になると思います。一例として、スポーツ GOMI 拾いがあります。イベントを主催して参加者が住んでいる街を大事に思う意識が高まれば、住みやすい街「ふるさと」という意識につながります(40代女性)